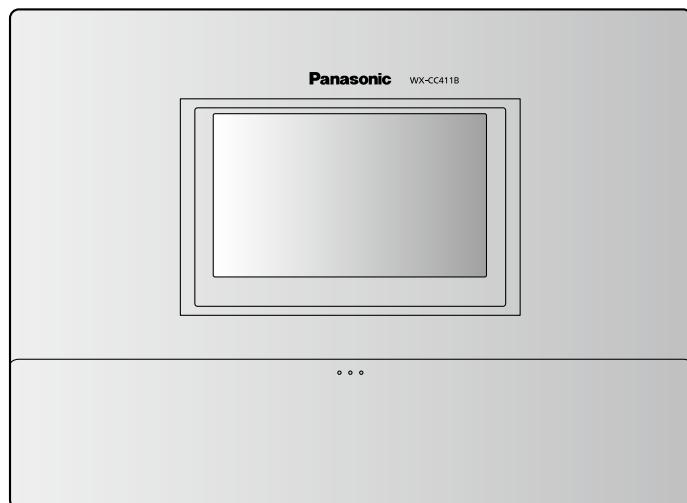


Panasonic®

取扱説明書 設定編

センター モジュール

品番 WX-CC411B



はじめに

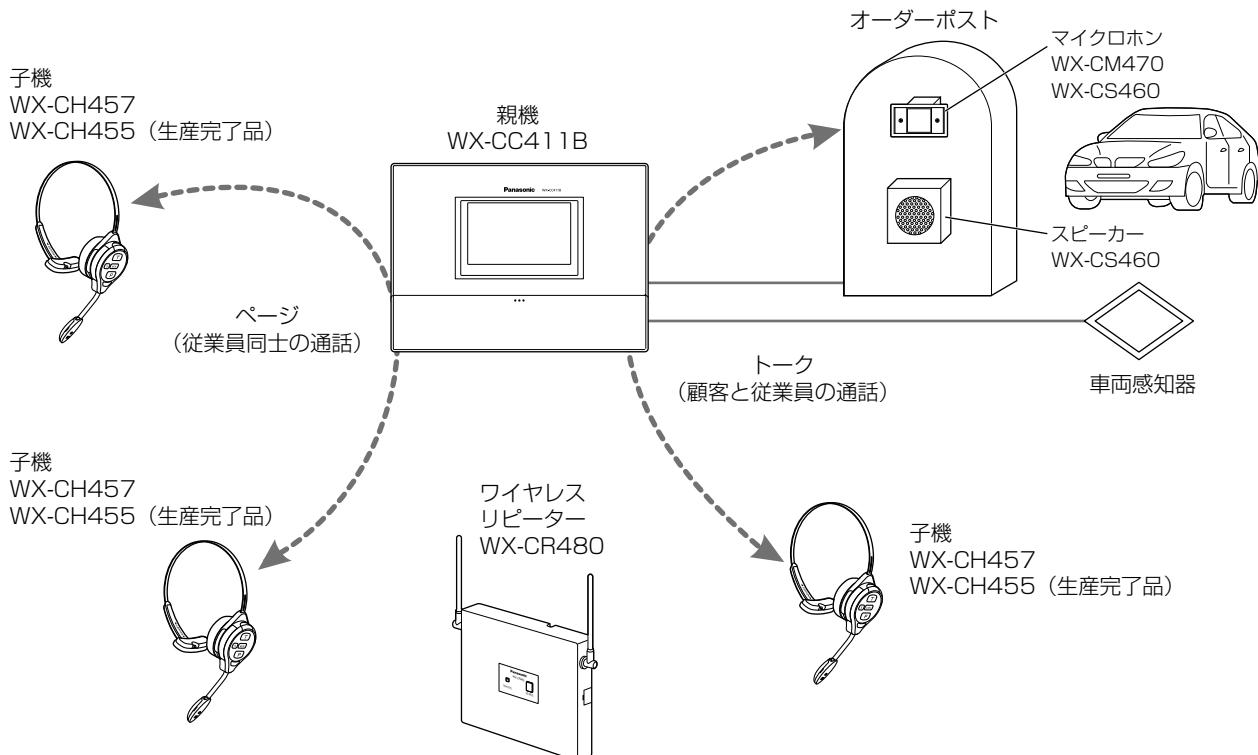
■商品概要

センターモジュールWX-CC411Bは、ドライブスルー型店舗で使用されるワイヤレスインターラムシステムの親機です。

- 本機はドライブスルー店舗のシングルレーンに対応します。
- 1.9 GHz帯DECT※準拠方式を採用することにより、広いエリアで明瞭な会話ができ、干渉を受けることが少なく安定した通信ができます。
※ DECT (Digital Enhanced Cordless Telecommunications) : デジタルコードレス電話の通信規格
- ワイヤレスリピーター (WX-CR480) を設置することで、カバーエリアをさらに広げることができます。
- 7 kHzまでの周波数特性 (ワイドバンド) に対応しており、オーダーポストの顧客との通話、およびオールインワンヘッドセット間の通話をワイドバンド音声にすることができ、会話が聞き取りやすくなります。
- 強力なエコーキャンセラーとデジタルノイズリダクションにより、高い音声の明瞭度が得られます。
- キャビネットは壁掛けに対応しており、簡単に設置できます。
- 1台あたり32台の子機を登録できます。また、4人同時に通話が可能です。
- タッチパネル付7型液晶画面を持ち、簡単に操作できます。
- イーサネットでIPネットワークに接続し、リモート操作が可能です。
- SDカードで設定内容のバックアップとリストア、店舗独自のメッセージの保存ができます。
- スケジューラを内蔵しており、指定した時間にグリーターメッセージを差し替えたり、リマインダーメッセージを自動的に再生することができます。
- i-PRO社製ネットワークカメラを4台まで登録し、その映像を本機の液晶画面で確認することができます。
- アラート信号を受け取ってアラートメッセージを子機に通知したり、外部デバイスに信号を出力したり、アラートEメールを外部に送信することができます。

■システムイメージ図

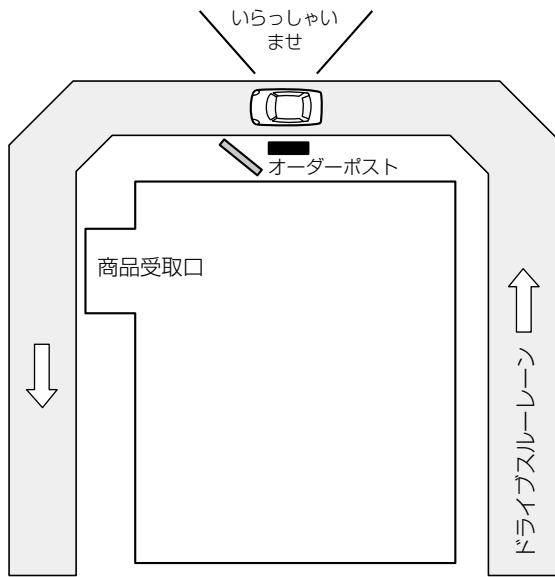
センターモジュールと子機が無線接続することで、子機同士、または子機とオーダーポストにいる顧客との通話ができます。



はじめに

■運用について

本システムでは、シングルレーンのドライブスルーに適した運用をサポートします。
オーダーポストが1台のみ設置されている環境下での運用をシングルレーンと言います。



■取扱説明書について

取扱説明書は、取扱説明書 設置編、取扱説明書 設定編 (PDF ファイル) および取扱説明書 ブラウザ編 (PDF ファイル) で構成されています。

- 取扱説明書 設置編 : 必要な機器との接続や設置のしかた、設定方法 (抜粋) について説明しています。
- 取扱説明書 設定編 (本書 : PDF ファイル) : 本機を使用するにあたっての設定について説明しています。
- 取扱説明書 ブラウザ編 (PDF ファイル) : ブラウザからのアクセスについて説明しています。

PDF ファイルをお読みになるには、Adobe 社の Adobe® Acrobat Reader® 日本語版が必要です。パソコンに Acrobat Reader 日本語版がインストールされていないときは、Adobe 社のホームページから最新の Acrobat Reader 日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

重要

- 取扱説明書 ブラウザ編の入手は、パナソニックプロダクトサーチウェブサイト (<https://partner.connect.panasonic.com/jp-ja/products-services>) からダウンロードしてください。

■商標および登録商標について

- Adobe、Acrobat Reader および Adobe Reader は、Adobe の商標です。
- SD、SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

はじめに

■ネットワークセキュリティについて

重要

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール、FTPサーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、それらの情報を格納しているサーバーや各種接続機器に対してユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施してください。
- 管理者で本商品にアクセスしたあとは、セキュリティ強化のため、必ずすべてのブラウザーを閉じてください。
- 管理者のパスワードは、セキュリティ強化のため、定期的に変更してください。

■略称について

SDHC／SDメモリーカードをSDカードと表記しています。

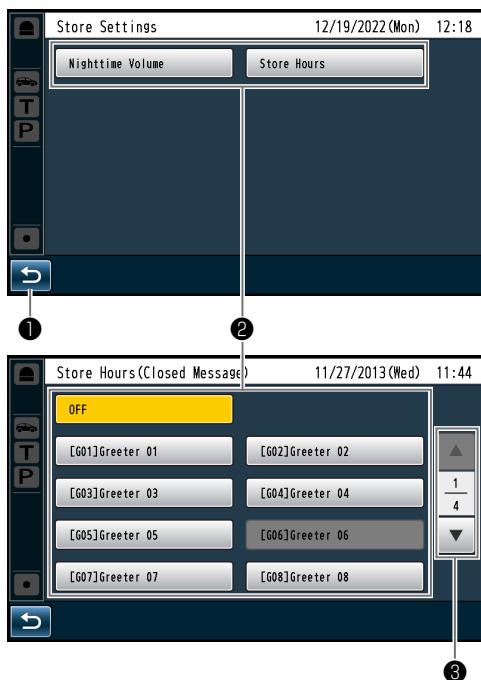
もくじ

はじめに	2	レーン設定を行う [Lane]	26
商品概要	2	入力音量の設定を行う	26
システムイメージ図	2	出力音量の設定を行う	26
運用について	3	AUX Speakerの設定を行う	27
取扱説明書について	3	DSPの設定を行う	28
商標および登録商標について	3	メッセージの設定を行う [Message]	29
ネットワークセキュリティについて	4	メッセージを録音する	29
略称について	4	メッセージを確認再生する	31
画面操作	6	グリーターメッセージの設定を行う	31
基本的な画面操作について	6	リマインダーメッセージの設定を行う	34
設定を確定する	6	アラートメッセージの設定を行う	36
文字を入力する	7	セキュリティアラートの設定を行う [Security Alert]	38
日時を設定する	7	SDカードを操作する [SD Memory Card]	40
ボリュームを調節する	7	設定データとメッセージをバックアップする	40
設定メニュー画面を表示する	8	バックアップデータをリストアする	41
設定メニュー画面の表示	8	SDカードをフォーマットする	43
本機の設定を行う	9	メンテナンスを行う [Maintenance]	44
設置設定を行う [Installation Settings]	9	ソフトウェアバージョンを表示する	44
日時の設定を行う	9	ワイヤレスリピーターのソフトウェアバージョンを表示する	44
現在日時の設定を行う	9	設定データの初期化を行う	44
サマータイムの設定を行う	9	ポップアップメッセージについて	45
パスワードを変更する	10	故障かな!?	47
ネットワークアドレスの設定を行う	11		
ヘルプコンタクトの設定を行う	12		
スクリーン&タッチパネルの設定を行う	12		
クイックログインの設定を行う [Quick Login]	13		
音質の設定を行う [Sound Band]	14		
オーダーポストマイクの設定を行う [Outside Mic]	15		
端子の設定を行う [Terminal]	15		
子機の設定を行う [Headsets]	17		
シングルトークの設定を行う [TALK]	20		
ワイヤレスリピーターの設定を行う [Wireless Repeaters]	20		
店舗の設定を行う [Store Settings]	23		
ナイトタイムボリュームの設定を行う	23		
ストアアワーズの設定を行う	24		

画面操作

■ 基本的な画面操作について

基本的な画面操作について説明します。



① 戻るボタン

上階層の画面に戻ります。

② 項目選択ボタン

タッチしたボタンに応じた画面に移動します。設定画面ではボタンが選択状態（オレンジ色）になります。場面によってボタン名が変わります。

③ ページ切り替えボタン

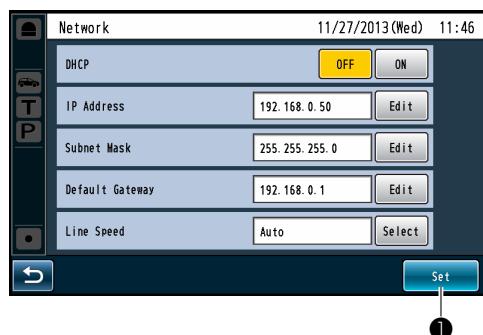
画面が複数のページにまたがっているときにページを切り替えます。▼ボタンをタッチすると次のページの画面を表示し、▲ボタンをタッチすると前のページの画面を表示します。

メモ

- 液晶画面は傷つきやすいので、必ず指で触れて操作してください。
- ボールペンなど先端の硬いもの、また爪先で操作しないでください。
- 液晶ディスプレイを強く押さないでください。
- 市販の液晶保護フィルムは使用しないでください。（タッチパネルが正常に動作しない場合があります）
- 冷暖房を入れた直後など急激な温度変化のために、液晶画面の内側がくもったり、露（水滴）が生じて、正しく動作しないことがあります。無理にご使用にならず本機を1～2時間放置してからご使用ください。

■ 設定を確定する

複数の設定項目から構成される画面では [Set] ボタンをタッチして、設定を確定します。



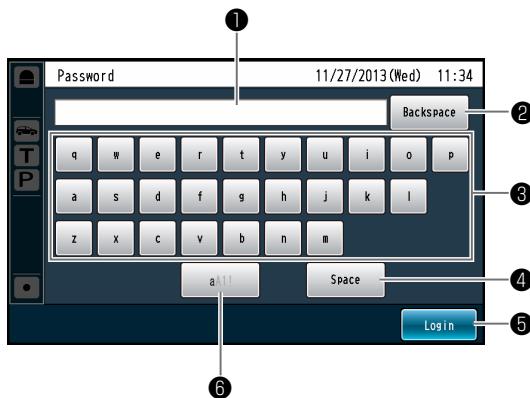
① Setボタン

画面に表示されている複数の設定を一括で反映します。

画面操作

■文字を入力する

パスワード入力や各種アドレス入力などで文字を入力する場合は、キーボードを使って入力します。



①入力文字表示領域

入力されている文字が表示されます。

②バックスペースボタン

入力文字表示領域に表示されている文字の右端文字を削除します。

③文字入力ボタン

タッチしたボタンの文字を入力します。

④スペースボタン

空白を入力します。

⑤確定ボタン [Enter/Login]

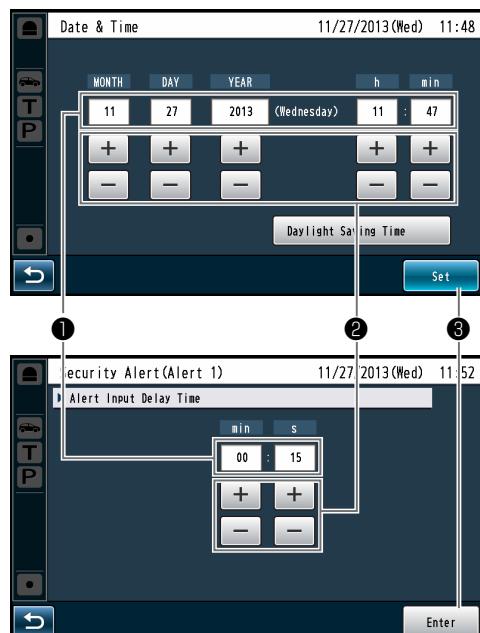
入力された文字列を確定します。

⑥文字種切り替えボタン

入力する文字の種類を変更します。

■日時を設定する

[+]ボタンと[-]ボタンを使って日時を入力します。



①設定値表示領域

現在の設定値を表示します。

②+、-ボタン

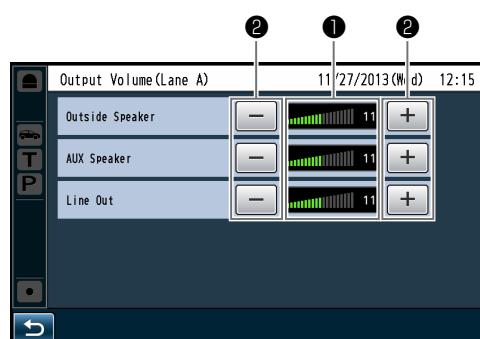
+、-ボタンのタッチに応じて設定値を調整します。

③確定ボタン [Set/Enter]

設定した日時を確定します。

■ボリュームを調節する

ボリュームを調節します。



①ボリューム値表示領域

現在のボリューム値を表示します。

②+、-ボタン

+、-ボタンのタッチに応じてボリューム値を調節します。変更したボリュームはリアルタイムに変更されます。

設定メニュー画面を表示する

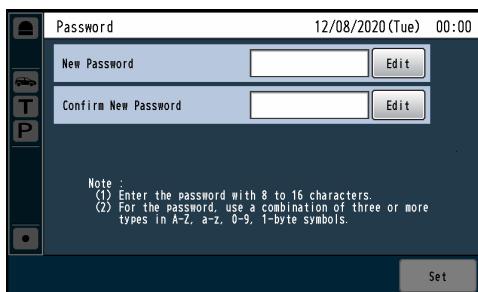
センターモジュールの設定メニュー画面はパスワード認証後に表示されます。

■設定メニュー画面の表示

<初回起動時>

パスワードの設定が必要です。

- タッチパネル上の  (設定ボタン) をタッチします。
 - センターモジュールの初回起動時、パスワード設定画面が表示されます。



- [New Password]、[Confirm New Password] を入力します。

[Edit] ボタンをタッチして [New Password]、[Confirm New Password] を入力します。

[New Password]

新しいパスワードを入力します。

[Confirm New Password]

確認のため新しいパスワードを入力します。

メモ

- パスワードは8～16文字まで入力できます。
- パスワードは英大文字、英小文字、半角数字、半角記号の4種類のうち3種類以上を使用してください。
- 入力した文字は“*”で表示されます。

重要

- 設定したパスワードは忘れないように、必ず控えておいてください。
- パスワードはセキュリティを確保するために、定期的に変更してください。

- [Set] ボタンをタッチします。

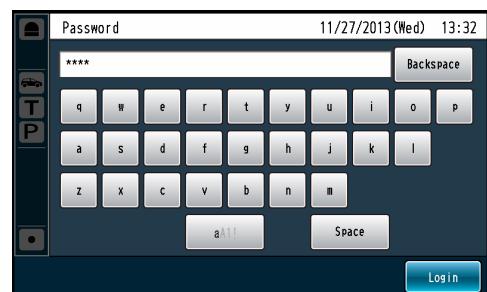
- 設定メニュー画面が表示されます。



<パスワード設定後>

パスワードの入力が必要です。

- タッチパネル上の  (設定ボタン) をタッチします。
 - パスワード入力画面が表示されます。



- 設定したパスワードを入力します。

(英数字記号8～16文字以内)

- 入力した文字は“*”で表示されます。

メモ

- パスワードを忘れた場合は、販売店にお問い合わせください。

- [Login] ボタンをタッチします。

- 設定メニュー画面が表示されます。



メモ

- 各種設定画面では無操作時間が2分を経過すると、自動的にパスワード入力画面に戻ります。
- 設定メニュー画面を表示するには、再度パスワード入力が必要です。
- 「クイックログイン」機能を使うとパスワードを入力せずに、設定メニューを表示できます。「クイックログインの設定を行う [Quick Login]」(13ページ)を参照してください。

本機の設定を行う

設定メニュー画面から設定したい項目を選択し、各種設定を行います。

■設置設定を行う [Installation Settings]

本機の基本設定を行います。
設置後は必ず設定してください。

■日時の設定を行う

センターモジュールの日時、サマータイムを設定します。

■現在日時の設定を行う

センターモジュールの現在日時を設定します。

1 設定メニュー画面→ [Installation Settings] ボタン→ [Date & Time] ボタンの順にタッチします。



2 現在の年月日、時分を入力します。

- 液晶画面の日時表示が更新されます。入力方法は「日時を設定する」(7ページ)を参照してください。
2013年1月1日00:00～2035年12月31日23:59の範囲で設定できます。

重要

- 本機では以下の順で日時を設定します。
月/日/年 時:分
- 時刻は24時間表記です。
- 液晶画面の日時表示も上記の表記方法で表示されます。

3 [Set] ボタンをタッチします。

- 液晶画面に表示する現在日付、時刻が更新されます。

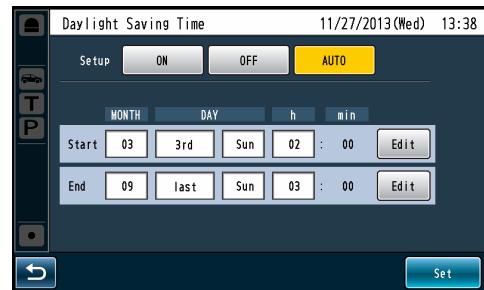
メモ

- 日時設定の途中でサマータイム設定を行うと、警告画面が表示されます。日時設定を終わらせてからサマータイム設定を行ってください。
- 日時設定後、2036年1月1日を経過した場合は、電源OFF/ONにて、2000年1月1日に初期化されます。2036年1月1日以降はグリーターメッセージやリマインダーメッセージなどスケジュール機能は動作しません。

■サマータイムの設定を行う

サマータイムの設定を行います。

1 設定メニュー画面→ [Installation Settings] ボタン→ [Date & Time] ボタン→ [Daylight Saving Time] ボタンの順にボタンをタッチします。



2 [Setup]

サマータイムを使用するかどうかを [ON] / [OFF] / [AUTO] ボタンで設定します。

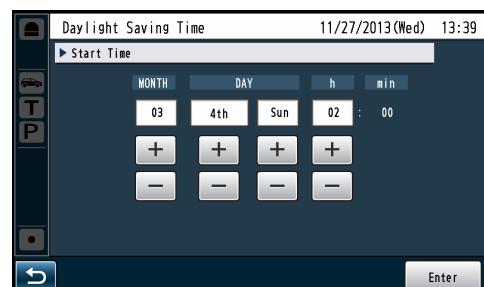
ON : 時刻をサマータイムにします。
(現在時刻を1時間進める)

OFF : サマータイムを解除します。

AUTO : 開始日時、終了日時設定(月、週、曜日、時刻)にしたがって、サマータイム時刻に切り替えます。

初期設定: OFF

AUTOを選んだ場合は、サマータイムの開始日時と終了日時の設定が必要です。[Edit] ボタンをタッチして開始日時と終了日時を設定します。



サマータイム開始/終了日時の月、日、時を入力し、[Enter] ボタンをタッチします。

メモ

- サマータイム中は時刻表示に "*" が表示されます。
- [Day] は○回目の△曜日という形で指定します。
[Last] を設定した場合、その月に5回目の指定曜日がなければ、4回目の指定曜日を対象日とします。
- 開始と終了は同じ日を設定できません。

本機の設定を行う

3 [Set] ボタンをタッチします。

- サマータイムの設定が更新されます。

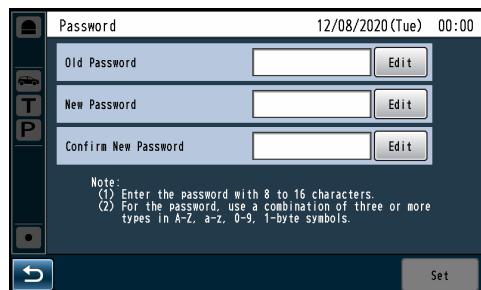
メモ

- 時刻がサマータイムの場合、スケジュール関連機能(リマインダーメッセージやストアアワーズなど)はサマータイムが反映された時刻で動作します。

■ パスワードを変更する

パスワードを変更します。

1 設定メニュー画面→[Installation Settings] ボタン→[Password] ボタンの順にタッチします。



2 [Old Password]、[New Password]、[Confirm New Password] を入力します。

[Edit] ボタンをタッチして [Old Password]、[New Password]、[Confirm New Password] を入力します。

[Old Password]

現在のパスワードを入力します。

[New Password]

新しいパスワードを入力します。

[Confirm New Password]

確認のため新しいパスワードを入力します。

メモ

- パスワードは8～16文字まで入力できます。
- パスワードは英大文字、英小文字、半角数字、半角記号の4種類のうち3種類以上を使用してください。
- 入力した文字は“*”で表示されます。

重要

- 変更したパスワードは忘れないように、必ず控えておいてください。
- パスワードはセキュリティを確保するために、定期的に変更してください。

3 [Set] ボタンをタッチします。

- パスワードが変更されます。

本機の設定を行う

■ネットワークアドレスの設定を行う

センターモジュールのネットワーク設定を行います。

- 1 設定メニュー画面→ [Installation Settings] ボタン
→ [Network] ボタンの順でボタンをタッチします。



[DHCP]

DHCP 機能を使用する、しないを設定します。

- OFF : IP アドレスを手動で設定します。
[IP Address] [Subnet Mask] [Default Gateway] を入力してください。
- ON : DHCP を使用します。
DHCP 機能を使用して IP アドレスを設定します。
DHCP サーバーから IP アドレスを取得できない場合は、自動で IP アドレス (Auto IP) を設定します。
[IP Address] [Subnet Mask] [Default Gateway] は入力不要です。

初期設定 : OFF

メモ

- DHCP が OFF 設定のとき、他機器の IP アドレスと重複しないように IP アドレスを設定してください。
- DHCP が ON 設定のとき、DHCP 機能を使用しない機器が同じ IP アドレスにならないように、DHCP サーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問合せください。
- DHCP が ON 設定のとき、DHCP サーバーから IP アドレスを取得できない場合は、169.254.1.0 ~ 169.254.254.255 の間で同一ネットワーク内で使用されていない IP アドレスを検索して IP アドレスを設定します。

[IP Address]

IP アドレスを設定します。

[Edit] ボタンをタッチして IP アドレスを入力します。
初期設定 : 192.168.0.50

[Subnet Mask]

サブネットマスクのアドレスを設定します。

[Edit] ボタンをタッチしてアドレスを入力します。
初期設定 : 255.255.255.0

[Default Gateway]

デフォルトゲートウェイのアドレスを設定します。

[Edit] ボタンをタッチしてアドレスを入力します。
初期設定 : 192.168.0.1

[Line Speed]

ネットワークの通信速度を指定します。

[Select] ボタンをタッチして通信速度を選択します。
通信速度は以下から選択します。

Auto : 通信速度が自動設定されます。

100M-Full : 100Mbps 全二重

100M-Half : 100Mbps 半二重

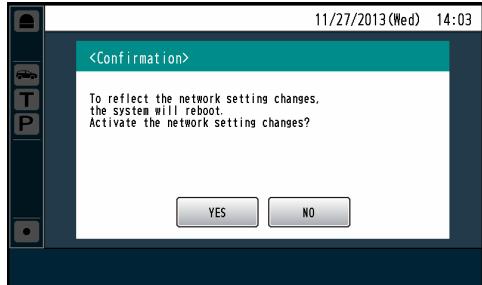
10M-Full : 10Mbps 全二重

10M-Half : 10Mbps 半二重

初期設定 : Auto

- 2 [Set] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。ネットワーク設定の変更を反映するには「YES」ボタンをタッチします。



メモ

- ネットワーク設定を変更すると自動的に再起動します。
- タッチパネル上の (情報表示ボタン) → [System Info] ボタンの順にタッチするとネットワークの状態を確認することができます。

本機の設定を行う

■ヘルプコンタクトの設定を行う

ヘルプコンタクトは緊急時の連絡先をヘルプコンタクト画面で確認する機能です。

ヘルプコンタクト画面で表示する電話番号を入力します。

- 1 設定メニュー画面→ [Installation Settings] ボタン→ [Help Contact] ボタンの順にタッチします。
[Edit] ボタンをタッチして電話番号を入力します。



- 2 [Set] ボタンをタッチします。

- ヘルプコンタクトの設定が反映されます。

メモ

- タッチパネル上の  (情報表示ボタン) → [Help Contact] ボタンの順にタッチすると入力した電話番号を確認することができます。
- 数字、記号 ("") を18文字まで設定することができます。

■スクリーン&タッチパネルの設定を行う

液晶画面とタッチパネルに関する設定を行います。

- 1 設定メニュー画面→ [Installation Settings] ボタン→ [Screen & Touch Panel] ボタンの順にタッチします。



[Touch Panel Adjustment]

タッチパネルの位置調整を行います。

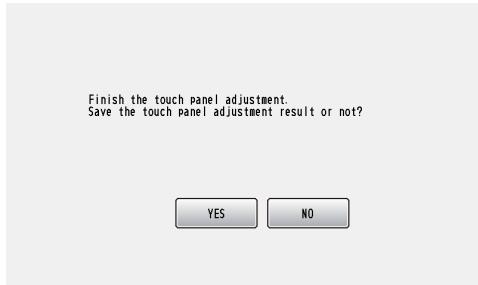
[Execute] ボタンをタッチすると「タッチパネル調整画面」が表示されます。



メモ

- +マークから外れた位置をタッチすると位置調整を最初からやり直します。

+マークを5箇所タッチすると、次の確認ポップアップ画面が表示されます。位置調整の結果を反映する場合は [YES] ボタンをタッチします。反映せずに戻る場合は [NO] ボタンをタッチします。



本機の設定を行う

[Language]

液晶画面に表示する言語を選択します。[Select] ボタンをタッチして表示言語を選択します。表示言語は以下から選択します。

English： 液晶画面に表示される文言を英語で表示します。

Français： 液晶画面に表示される文言をフランス語で表示します。

Español： 液晶画面に表示される文言をスペイン語で表示します。

初期設定： English

[Screen Saver]

スクリーンセーバー機能を使用するかどうかを設定します。

使用する場合は [Screen Saver] を ON に設定します。スクリーンセーバーを ON に設定すると、3 分間液晶画面をタッチしなかったとき、自動的に液晶画面のバックライトを OFF にして、消費電力を節約できます。バックライトが OFF になると画面が消えます。

OFF： スクリーンセーバー機能を使用しない。

ON： スクリーンセーバー機能を使用する。

初期設定： OFF

メモ

- スクリーンセーバー機能により、バックライトが OFF のときに、以下の操作で自動でバックライトが ON になります。
 - 液晶画面をタッチしたとき
 - [V/Det Camera] 設定が ON の場合に、車両感知器が ON になって、NW カメラの映像を液晶画面に表示するとき
 - SD カードを挿抜したとき
- 以下の場合は、3 分間液晶画面をタッチしなくても、バックライトは ON のままになります。
 - [V/Det Camera] 設定が ON の場合に、車両感知器が ON になって、NW カメラの映像を液晶画面に表示中のとき
- [V/Det Camera] の設定はブラウザから行います。詳しくは、取扱説明書ブラウザ編をお読みください。

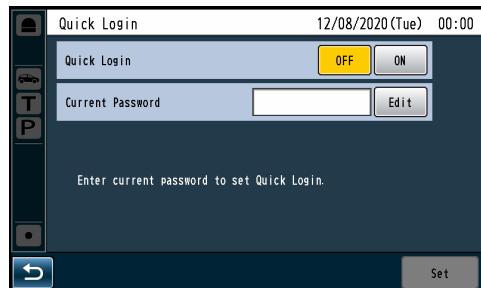
■ クイックログインの設定を行う

[Quick Login]

クイックログインは、設定メニューを表示する際の、パスワード入力画面でパスワードを入力せずに（パスワードなしで）ログインできる機能です。

1 設定メニュー画面 → [Installation Settings] ボタン → [Quick Login] ボタンの順にタッチします。

- クイックログイン設定画面が表示されます。



[Quick Login]

クイックログインを使用するかどうかを設定します。

OFF： クイックログインを使用しません。

パスワード入力画面でパスワードを入力して設定メニューを表示します。

ON：

クイックログインを使用します。
パスワード入力画面でパスワードなしで設定メニューを表示します。設定しているパスワードを入力した場合も設定メニューを表示します。

初期設定： OFF

メモ

- クイックログインの設定を変更する場合は、[Current Password] の入力が必要です。

[Current Password]

[Edit] ボタンをタッチして [Current Password] を入力します。現在設定しているパスワードを入力します。

2 [Set] ボタンをタッチします。

- クイックログインの設定が変更されます。

重要

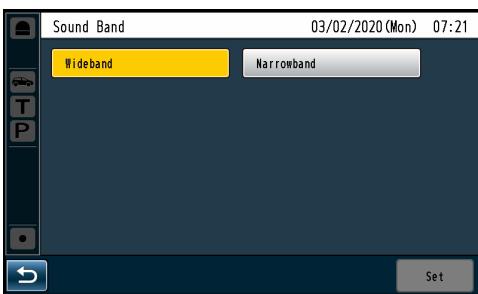
- 本機能を ON して使用すると、設定メニューに素早くアクセスできますが、パスワード無しで設定メニューを表示して、各種の設定を変更することができます。セキュリティや利用環境に十分に注意して、お客様ご自身の責任でご使用ください。

本機の設定を行う

■音質の設定を行う [Sound Band]

子機のTALKやPAGEの音質を設定します。
「Wideband」に設定するとTALKやPAGEの音声帯域が7 kHzに拡張され、より高音質で聞き取りやすい会話をすることができます。

- 1 設定メニュー画面→ [Installation Settings] ボタン
→ [Sound Band] ボタンの順にタッチします。



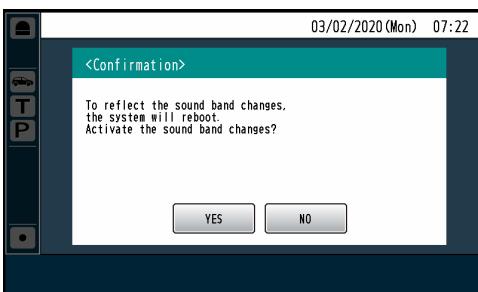
Wideband : 音声帯域を 100 Hz ~ 7 kHz に設定します。(高音質)

Narrowband : 音声帯域を 300 Hz ~ 3 kHz に設定します。(通常音質)

初期設定 : Wideband

- 2 [Set] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。音声帯域を変更する場合は [YES] ボタンをタッチします。
変更を中止する場合は [NO] ボタンをタッチします。



- [YES] ボタンをタッチすると音声帯域が変更されます。

重要

- 「Wideband」に設定して使用できる子機は WX-CH457 (ソフトウェアバージョン 2.00 以降) です。
- ベルトパック (WX-CT420)、オールインワンヘッドセット (ソフトウェアバージョンが 2.00 より古い WX-CH457、および WX-CH455、WX-CH450) の場合は、電源を入れると「Out of range」のアナウンスが流れで通話できません (ID 登録は可能)。
- 使用する子機に上記の機種が 1 台でも含まれる場合は、「Narrowband」に設定してください。この場合、WX-CH457 (ソフトウェアバージョン 2.00 以降) もナローバンドの音質になります。

メモ

- [Sound Band] 設定を変更すると、自動的に再起動します。
- グリーターメッセージ、リマインダーメッセージ、アラートメッセージは「Wideband」に設定しても、Narrowband の音質で再生されます。

本機の設定を行う

■オーダーポストマイクの設定を行う [Outside Mic]

オーダーポストに使用するマイクの機種を設定します。
マイクロホンWX-CM470は100 Hz～7 kHzの音声帯域(ワイドバンド)に対応しています。
マイクロホンWX-CS460はワイドバンドには対応していません。
ご使用になるマイクの機種に合わせて設定を行ってください。

重要

- 接続しているオーダーポストマイクの機種を正しく設定してください。
誤って設定すると、音が出力されなかったり、小さくなったりします。

1 設定メニュー画面→[Installation Settings] ボタン
→[Outside Mic] ボタンの順にタッチします。



Electret Microphone : WX-CM470を使用します。
Microphone/Speaker : WX-CS460を使用します。
初期設定 : Electret Microphone

メモ

- マイクロホンWX-CS460はワイドバンドには対応していません。
[Sound Band] を「Wideband」に設定したセンター モジュールで使用することができますが、音声帯域は狭くなります。

■端子の設定を行う [Terminal]

センターモジュールに接続する外部端末の設定を行います。
センターモジュールの端子(ユーロブロック)の中で、
ALERT4端子およびVDET1端子は、接続する外部機器や
用途を選択して使用することができます。

ALERT4端子 : アラート用の外部機器(センサーなど)
またはスピードチーム用ボタンを接続して使用することができます。

VDET1端子 : 車両感知器またはオーダーポスト呼び出し用ボタンを接続して使用することができます。

1 設定メニュー画面→[Installation Settings] ボタン
→[Terminal] ボタンの順にタッチします。



[ALERT4]

ALERT4端子をセキュリティアラート用として使用するか、スピードチームボタン用として使用するかを選択することができます。

Alert Input : ALERT4端子をセキュリティアラート入力用として使用します。

Speed Team Button : ALERT4端子にスピードチームボタンを接続して使用します。

初期設定 : Alert Input



本機の設定を行う

メモ

- スピードチーム運用については、取扱説明書 設置編「操作のしかた」の「便利な使い方（その他の機能）」の「スピードチーム」をお読みください。
- ALERT1～3端子はスピードチーム用ボタンを接続して使用することはできません。
- スピードチーム用ボタンを接続して使用すると、タッチパネルからの操作とボタン操作の両方でスピードチーム運用のON/OFFを切り替えることができます。
- ボタン操作でスピードチームをONにした状態で、タッチパネルからの操作でスピードチームをOFFにすると、ボタンの状態とスピードチームのON/OFF状態が不一致となります。この場合、ボタンをONからOFFにしてから、再度OFFからONにすることで、ボタン操作でスピードチームをONにすることができます。

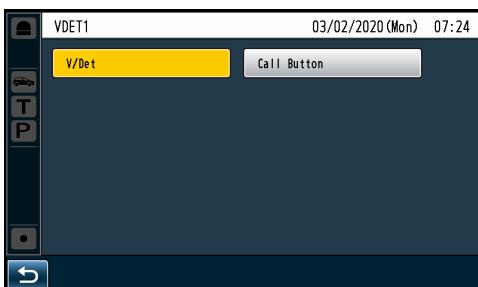
[VDET1]

VDET1 入力端子を車両感知器と接続して使用するか、オーダーポスト呼び出し用ボタンと接続して使用するかを選択することができます。

V/Det : VDET1 端子に車両感知器を接続して使用します。

Call Button : VDET1 端子にオーダーポスト呼び出し用ボタンを接続して使用します。

初期設定： V/Det



メモ

- 車両感知器やオーダーポスト呼び出し用ボタンを接続した運用については、取扱説明書 設置編「操作のしかた」の「便利な使い方（その他の機能）」の「呼び出しボタン接続」をお読みください。
- 「V/Det」に設定した場合、車両感知器がONになると子機イヤホーンからビープ音が鳴動し始め、子機のトークボタンが押されるか、車両感知器がOFFになるとビープ音が停止します。
- 「Call Button」に設定した場合、オーダーポスト呼び出し用ボタン（モーメンタリ式）が押されると子機からビープ音が鳴動し始め、子機のトークボタンが押されるとビープ音が停止します。
子機のトークボタンが押されない場合はビープ音は鳴動したままとなりますが、3分経過するとビープ音は停止します。
- VDET2（予備用）にはオーダーポスト呼び出し用ボタンを接続して使用できません。

[Outside Speaker Beep]

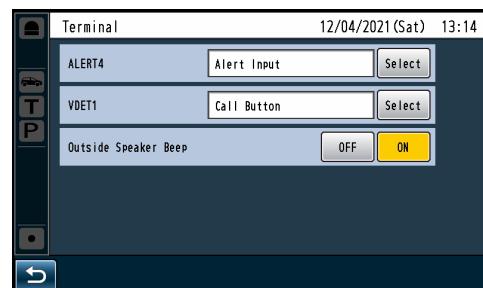
呼び出し用ボタンを押したときの通知音として、オーダーポストスピーカーからビープ音を出力するかどうかを設定します。

[VDET1] の設定が「Call Button」の場合のみタッチできます。

ON : ビープ音をオーダーポストスピーカーに出力します。

OFF : ビープ音をオーダーポストスピーカーに出力しません。

初期設定： ON



メモ

- オーダーポストスピーカーから出力されるビープ音の音量は、キッチンスピーカーから出力されるビープ音の音量と共通です。
キッチンスピーカーのビープ音量を変更する方法は「AUX Speakerの設定を行う」（27ページ）をお読みください。
- 呼び出し用ボタンを押したときのビープ音は、従業員が応答するまで聞こえます。呼び出し用ボタンを再度押した場合は、タイミングによりビープ音が遅れて聞こえることがあります。

本機の設定を行う

■子機の設定を行う [Headsets]

Headsetとは子機(ベルトパック、オールインワンヘッドセット)の総称で、ここでは子機に関する設定を行います。

ID 登録のしかた

- 子機でトーク(TALK)やページ(PAGE)を行うにはID登録が必要です。
- ID登録を行うにはセンターモジュールをID登録モードにし、子機の操作で登録を行います。

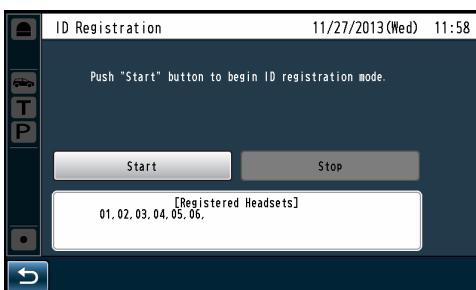
以下に子機での操作の例を元にID登録のしかたについて説明します。

メモ

- ベルトパック(WX-CT420)あるいはオールインワンヘッドセット(ソフトウェアバージョンが2.00より古いWX-CH457、およびWX-CH455、WX-CH450)を登録する場合は、センターモジュールの[Sound Band]を「Narrowband」に設定してください。

1 設定メニュー画面 → [Headsets] ボタン → [ID Registration] ボタンの順にタッチします。

- ID登録画面が表示されます。

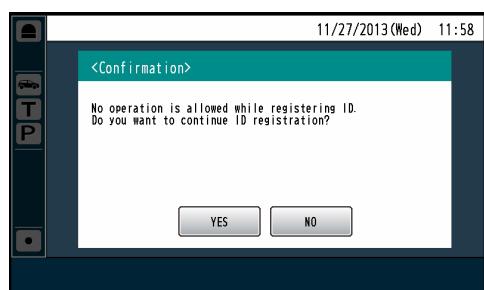


メモ

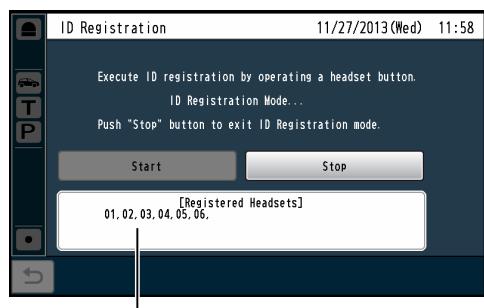
- [Registered Headsets]領域には登録済みの子機番号が表示されます。ID登録が成功すると登録された子機のIDが追加されます。

2 [Start] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。
ID登録中は他の操作はできません。ID登録を続ける場合は[YES]ボタンをタッチします。
ID登録を中止する場合は[NO]ボタンをタッチします。



- [YES]ボタンをタッチするとID登録モードがスタートします。



登録完了した子機の番号が表示されます。

3 WX-CH450、WX-CT420の場合は、子機の[T1]ボタンと[T2]ボタンを押しながら[POWER]ボタンを押します。

WX-CH457、WX-CH455の場合は、[T]ボタンと[P]ボタンを押しながら、マイクブームを回転し電源を入れます。

- 子機がID登録モードで起動します。子機で“Registration Mode”と鳴動し、電源表示灯が橙点滅します。
ID登録モードではボタンや表示灯は通常起動時と異なる機能になります。

本機の設定を行う

4 WX-CH450、WX-CT420の場合は、子機で [T1] ボタンを押します。

WX-CH457、WX-CH455の場合は [T] ボタンを押します。

子機がID登録モードのセンターモジュールを検索します。子機で“Connecting center module A”と鳴動し、レーン表示灯が橙点滅します。

- ID登録が成功すると、子機で“Registration complete”と鳴動し、その後登録された子機の番号が鳴動します。電源表示灯およびレーン表示灯の点滅が終了し、点灯します。

すべての子機のID登録が完了したら、ID登録画面で[Stop]ボタンをタッチします。

センターモジュールのID登録モードが終了します。子機の電源表示灯が橙から緑に変わります。

メモ

- センターモジュールの[Sound Band]が「Wideband」に設定されている場合、ベルトパック(WX-CT420)、オールインワンヘッドセット(ソフトウェアバージョンが2.00より古いWX-CH457、およびWX-CH455、WX-CH450)の場合は、電源を入れると「Out of range」のアナウンスが流れて通話できません(ID登録は可能)。
詳しくは「音質の設定を行う[Sound Band]」(14ページ)をお読みください。

重要

- 複数の子機をID登録する場合は、1台ずつ順番にID登録操作を行ってください。複数台同時にID登録操作を行うと、正常にID登録できないことがあります。
- ID登録中は子機の電源を切ったり、電池を抜いたりしないでください。正常にID登録できないことがあります。ID登録がうまくいかない場合は、センターモジュールで[Stop]ボタンをタッチし、ID登録モードを抜けてから再度実行してください。
- ID登録に失敗すると子機で“ブー”と警告音の後、“Failed”と鳴動します。ID登録に失敗するとセンターモジュールに子機のIDが登録されず、子機の電源表示灯が赤点滅します。
- 1台のセンターモジュールあたり、子機32台までID登録することができます、32台を越えてID登録した場合、最も長い間使用されていないヘッドセットのIDを自動的に削除してからID登録します。

ID削除のしかた

子機のID登録を解除する機能です。

1 ID削除する子機の電源を切ります。

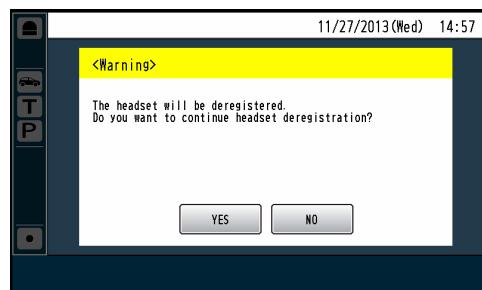
2 設定メニュー画面→[Headsets]ボタン→[ID Deletion]ボタンの順にタッチします。

- ID登録したすべての子機が一覧表示されます。
※子機が1台もID登録されていない場合はこの画面は表示されません。



3 画面上のID削除する子機の[Deletion]ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。削除する場合は[YES]ボタンをタッチします。削除を中止する場合は[NO]ボタンをタッチします。



メモ

- ヘッドセット番号は子機の電源投入時に鳴動する音声で確認することができます。
子機の電源が起動すると、イヤホーンから“Hello”“Headset **”(**はセンターモジュールに登録されたID番号)「レーンA」と音声が聞こえます。

本機の設定を行う

グループ登録のしかた

子機のグループ登録を行います。
アラートメッセージやリマインダーメッセージの放送先として
グループを選択しておけば、同時に複数の子機に放送できます。

- 1** 設定メニュー画面→ [Headsets] ボタン→ [Group]
ボタンの順にタッチします。

メモ

- グループは 1 ~ 6 まで設定することができます。

- 2** 設定するグループのボタンをタッチします。

- ID 登録したすべての子機が一覧表示されます。
※子機が 1 台も ID 登録されていない場合はこの画面
は表示されません。

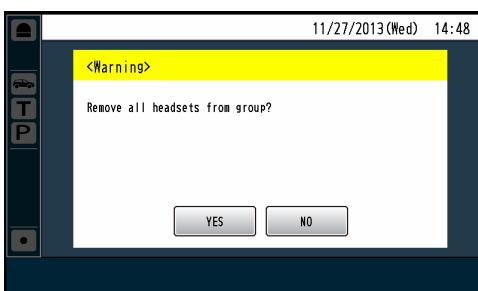


- 3** グループに登録する子機を選択します。

- グループに登録する子機は [ON] に設定します。
- グループから削除する子機は [OFF] に設定します。
- 全子機をグループ登録削除したい場合は [Clear] ボ
タンをタッチします。

初期設定：すべて OFF

- [Clear] ボタンをタッチすると次の確認ポップアップ
画面が表示されます。グループから削除する場合
は [YES] ボタンをタッチします。削除を中止する場
合は [NO] ボタンをタッチします。



メモ

- 1 グループに最大 32 台の子機を登録できます。
- 子機は複数のグループに登録できます。

- 4** [Set] ボタンをタッチします。

- 子機のグループ登録が反映されます。

本機の設定を行う

■シングルトークの設定を行う [TALK]

シングルトークを使用するかどうかを設定します。

- 1 設定メニュー画面→ [Headsets] ボタン→ [TALK] ボタンの順にタッチします。



[Single Talk]

シングルトークを用いる場合は ON に設定します。ON に設定すると、顧客と従業員との通話（トーク）ができる子機を最大4台から1台までに限定することができます。

- OFF : シングルトークを使用しません。
ON : シングルトークを使用します。

初期設定 : OFF

メモ

- 本機で同時に通話できる子機の数は、トークまたはページを合わせて4台までです。本機能をONに設定しても、この通話制限は変わりません。
- マネージャーモードに設定された子機は本機能の対象外です。通常子機が1台トーク中でも、マネージャー子機のトークは可能です。
- また、マネージャー子機がトーク中でも、通常子機は1台までトークが可能です。
- 本機能は、運用中に変更することができ、ON/OFF を変更してもそのまま運用を継続できます。（トークの強制切断はしません）
- 複数人トークしている時にOFFからONにした場合、トークを終了するまでは通話を継続できます。ただし、トークしている人が一人以上いる状態が継続している間は、他の子機はトークすることができません。

■ワイヤレスリピーターの設定を行う [Wireless Repeaters]

ワイヤレスリピーターを登録または削除します。

ID 登録のしかた

ワイヤレスリピーターを登録します。ワイヤレスリピーターを使用すると、ワイヤレス通信距離を伸ばすことができます。

- ワイヤレスリピーターを使用するには、ID 登録が必要です。
- ID 登録を行うにはセンターモジュールを ID 登録モードにし、ワイヤレスリピーターの操作で登録を行います。

ワイヤレスリピーターのID登録手順を以下に説明します。

- 1 設定メニュー画面→ [Wireless Repeaters] ボタン→ [ID Registration] ボタンの順にタッチします。

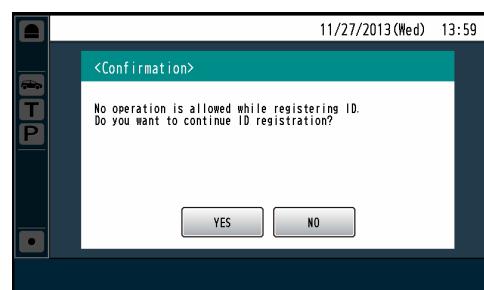


メモ

- センターモジュールにすでに2台のワイヤレスリピーターが登録されている場合は、[ID Registration] ボタンはタッチできません。ワイヤレスリピーターのIDを削除してから、再度ID登録を行ってください。

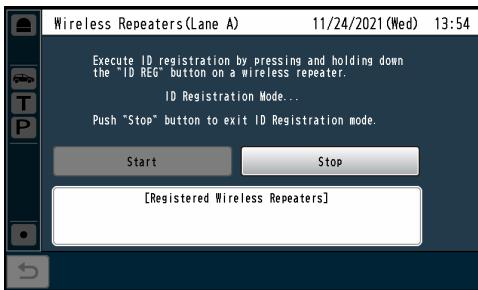
- 2 [Start] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。ID登録中は他の操作はできません。ID登録を続ける場合は[YES]ボタンをタッチします。ID登録を中止する場合は[NO]ボタンをタッチします。



本機の設定を行う

- [YES] ボタンをタッチするとリピーター ID 登録モードがスタートします。



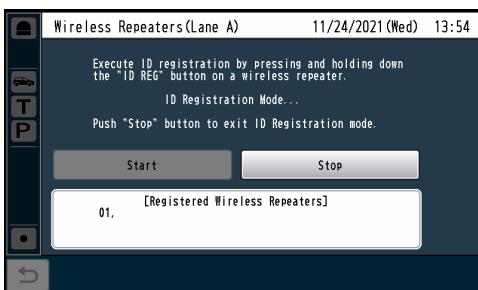
- 3** ワイヤレスリピーターにUSB電源アダプターを接続して、[STATUS] 表示灯が赤点灯、または赤点滅になることを確認します。

メモ

- ワイヤレスリピーターにセンターモジュールのID登録情報がない場合、[STATUS] 表示灯は赤点灯します。
- ワイヤレスリピーターにセンターモジュールのID登録情報が残っている場合、約3秒間、橙色点滅（または緑色点滅）してから赤点滅になります。

- 4** ワイヤレスリピーターの [ID REG] ボタンを3秒以上長押しします。

- ワイヤレスリピーターが ID 登録モードで起動し、[STATUS] 表示灯は橙点滅します。ワイヤレスリピーターは、リピーター ID 登録モードでセンターモジュールを検索します。

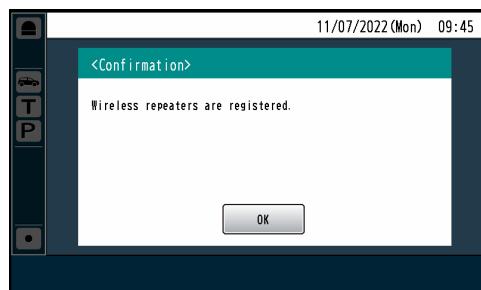


- 登録中の [Registered Wireless Repeaters] 領域には登録済みのワイヤレスリピーター番号が表示されます。ID 登録が成功すると登録されたリピーターのIDが追加されます。
- ID 登録が成功すると、ワイヤレスリピーターの [STATUS] 表示灯は橙点灯（または遅い橙点滅）します。

メモ

- センターモジュールに2台のワイヤレスリピーターが登録されるまでは、続けて登録することができます。ID 登録モードを終了するには [Stop] ボタンをタッチします。
- 2台目のワイヤレスリピーターを続けて登録する場合は、別のワイヤレスリピーターで手順3、4を行います。

1台のセンターモジュールあたり2台目の登録が正常に完了すると、以下の確認ポップアップ画面が表示され、センターモジュールのリピーター ID 登録モードが自動的に終了します。



重要

- 複数のワイヤレスリピーターを登録する場合は、1台ずつ順番にID登録操作を行ってください。複数台同時にID登録操作を行うと、正常にID登録できないことがあります。
- ID登録中はワイヤレスリピーターのUSBケーブルやUSB電源アダプターを外さないでください。正常にID登録できないことがあります。ID登録がうまくできない場合は、センターモジュールで[Stop]ボタンをタッチし、ID登録モードから抜けて再度実行してください。
- ID登録に失敗すると、センターモジュールにワイヤレスリピーターのIDが登録されず、ワイヤレスリピーターの[STATUS]表示灯は赤点灯または赤点滅します。
- 1台のセンターモジュールあたり、ワイヤレスリピーターを2台までID登録することができます。

メモ

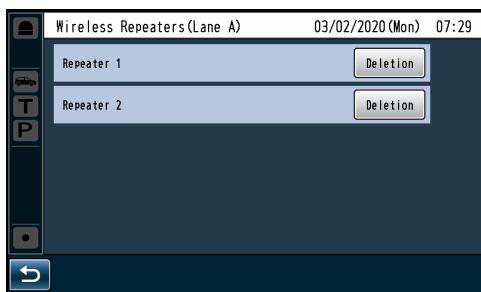
- 1台のセンターモジュールに同じワイヤレスリピーターを再登録しないでください。一度登録したワイヤレスリピーターを再度登録しようとするとID登録に失敗します。
- センターモジュールにワイヤレスリピーターを登録して使う場合はオールインワンヘッドセットWX-CH457（ソフトウェアバージョン2.00以降）を使用してください。

本機の設定を行う

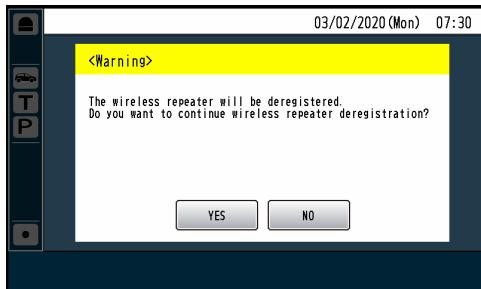
ID削除のしかた

ワイヤレスリピーターのID登録を解除する機能です。

- 1 ID削除するワイヤレスリピーターのUSB電源アダプターを取り外します。
- 2 設定メニュー画面→[Wireless Repeaters]ボタン→[ID Deletion]ボタンの順にタッチします。
 - ID登録したすべてのワイヤレスリピーターが一覧表示されます。



- 3 画面上のID削除するワイヤレスリピーターの[Deletion]ボタンをタッチします。
 - 次の確認ポップアップ画面が表示されます。削除する場合は[YES]ボタンをタッチします。削除を中止する場合は[NO]ボタンをタッチします。



- [YES]ボタンをタッチすると、ワイヤレスリピーターの登録が削除されます。

メモ

- ワイヤレスリピーターがID登録されていない場合は、[ID Deletion]ボタンは操作できません。

店舗の設定を行う [Store Settings]

店舗の運用設定を行います。

■ナイトタイムボリュームの設定を行う

オーダーポストスピーカーから出力される音声の音量レベルを相対的に抑える機能です。夜間の騒音を抑えるため、オーダーポストから出力される音量レベルを小さくするときに使用します。

1 設定メニュー画面→ [Store Settings] ボタン→ [Nighttime Volume] ボタンの順にタッチします。



2 [Nighttime Volume]

ナイトタイムボリュームを使用するかどうかを [OFF]／[ON]／[AUTO] ボタンで設定します。

OFF： オーダーポストスピーカーの音量レベルを変更しません。

ON： オーダーポストスピーカーの音量を小さくします。

AUTO： 毎日開始時刻、終了時刻にしたがって、自動的にオーダーポストスピーカーから出力される音声の音量を小さくします。

初期設定：OFF

3 [Level]

音声の抑圧レベルを設定します。

–20 dB ~ 0 dB (2 dB ステップ) で設定します。

初期設定：0 dB

4 [Start Time] [Ending Time]

「AUTO」を選択した場合はナイトタイムボリュームの開始、終了時刻を設定します。

[Start Time]、[Ending Time] の [Edit] ボタンをタッチして時刻を設定します。

メモ

- 日をまたいで設定する場合は開始時刻よりも終了時刻を早い時間に設定してください。

5 [Set] ボタンをタッチします。

- ナイトタイムボリュームの設定が反映されます。

メモ

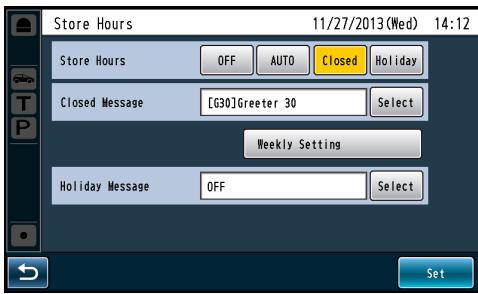
- 夜間音量設定が有効の間はASLCの設定によらず、ASLC機能は動作しません。ASLCについては「DSPの設定を行う」(28ページ)を参照してください。

店舗の設定を行う [Store Settings]

■ストアアワーズの設定を行う

店舗の営業時間を設定します。営業時間外の来客時に閉店用のグリーターメッセージを流すなどの運用を行うことができます。

- 1 設定メニュー画面→ [Store Settings] ボタン→ [Store Hours] ボタンの順にタッチします。



2 [Store Hours]

ストアアワーズを使用するかどうかを [OFF] / [AUTO] / [Closed] / [Holiday] ボタンで設定します。

OFF : 車両感知器がONの時、スケジュールで設定されたグリーターメッセージを再生します。

AUTO : 車両感知器がONの時、営業時間内であればスケジュールで設定されたグリーターメッセージを再生します。営業時間外であれば閉店用グリーターメッセージを再生します。

Closed : 車両感知器がONの時、常に閉店用グリーターメッセージを再生します。レーンを閉鎖している時などに使用します。

Holiday : 車両感知器がONの時、常に休日用グリーターメッセージを再生します。クリスマスやハロウィーンなど特別な日に流すグリーターメッセージに変更するときに使用します。

初期設定 : OFF

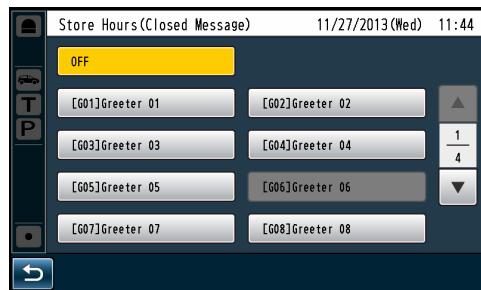
メモ

- AUTO設定時はあらかじめ営業時間の設定を行ってください。[Weekly Setting] で設定します。詳しくは「営業時間を設定するには」(25ページ)をお読みください。

- 3 閉店用グリーターメッセージ／休日用グリーターメッセージを設定します。

[Closed Message] / [Holiday Message] の [Select] ボタンをタッチして、グリーターメッセージ一覧から各メッセージを選択します。

初期設定 : OFF



メモ

- 録音済みのグリーターメッセージから選択することができます。
- 録音操作は「メッセージを録音する」(29ページ)を参照してください。

- 4 [Set] ボタンをタッチします。

- ストアアワーズ設定が反映されます。

店舗の設定を行う [Store Settings]

営業時間を設定するには

ストアアワーズをAUTOに設定するときは、事前に営業時間の設定を行う必要があります。以下にストアアワーズのスケジュール設定の方法を説明します。

1 [Weekly Setting] ボタンをタッチします。

曜日選択画面が表示されます。

2 スケジュール設定する曜日をタッチします。

[Start Time]、[Ending Time] の [Edit] ボタンをタッチして時刻を設定します。



[Copy To] : 開始時刻と終了時刻を他曜日へコピーします。

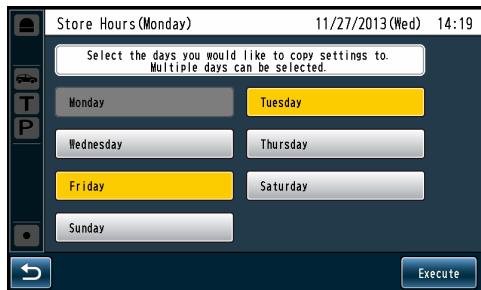
[Clear] : 開始時刻、終了時刻両方を--:--にします。

3 [Set] ボタンをタッチします。

- ストアアワーズの設定が反映されます。

ストアアワーズ設定をコピーするには

ストアアワーズ設定を他の曜日にコピーすることができます。[Copy to] ボタンをタッチすると曜日選択画面が表示されます。



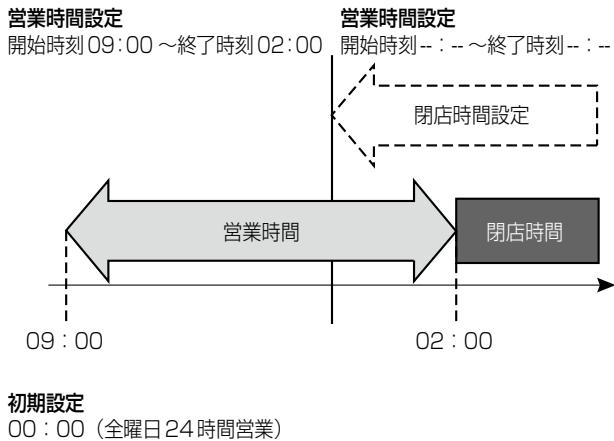
コピー先の曜日を選択して、[Execute] ボタンをタッチします。

選択した曜日にストアアワーズのスケジュールがコピーされます。

メモ

- 選択を解除する場合は、選択中のボタンを再びタッチします。
- コピー先の曜日は複数選択することができます。
- 開始時刻と終了時刻を同一時刻に設定すると、翌日の同時刻までが営業時間となります。(24時間営業)
- 開始時刻、終了時刻共に--:--に設定すると、その日は終日閉店となります。一方の時刻のみ--:--にすることはできません。
- 終了時刻を開始時刻よりも前に設定した場合、終了時刻は日をまたいだ翌日の終了時刻となります。
例) 開始時刻 09:00、終了時刻 02:00 の場合、営業時間は午前 9:00 ~ 翌日の午前 2:00 になります。

営業時間と閉店時間が重なった場合は営業時間が優先されます。



レーン設定を行う [Lane]

スピーカー、マイクの音量を設定する機能です。また、ノイズリダクションやエコーキャンセラーの設定を行います。

■入力音量の設定を行う

子機やオーダーポストスピーカーに出力する音声の音量を調整します。

- 1 設定メニュー画面→[Lane]ボタン→[Input Volume]ボタンの順にタッチします。



- 2 各入力の音量を調整します。

ボリュームは0～20の範囲で設定できます。

[Outside Mic]

オーダーポストマイクのボリュームを設定します。

初期設定：11

[AUX Mic]

キッキンマイクのボリュームを設定します。キッキンスピーカーにキッキンマイクの音声を出力するときもこのボリュームが反映されます。

初期設定：11

[Line In]

ライン入力のボリュームを設定します。

初期設定：11

[Beep]

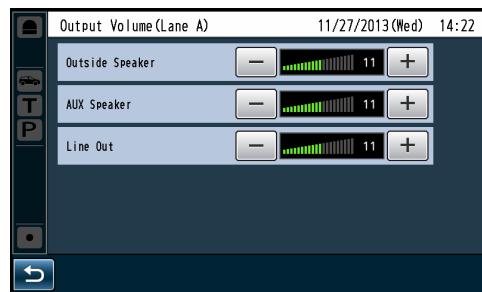
ビープ音のボリュームを設定します。

初期設定：11

■出力音量の設定を行う

各出力の音量を調整します。

- 1 設定メニュー画面→[Lane]ボタン→[Output Volume]ボタンの順にタッチします。



- 2 各出力の音量を調整します。

ボリュームは0～20の範囲で設定できます。

[Outside Speaker]

オーダーポストスピーカーのボリュームを設定します。

初期設定：11

メモ

- ASLC機能がONの時、オーダーポスト周辺の騒音環境によって設定値よりも大きな音量でスピーカーから拡声されることがあります。ASLCについては「DSPの設定を行う」(28ページ)を参照してください。

[AUX Speaker]

キッキンスピーカーのボリュームを設定します。

初期設定：11

[Line Out]

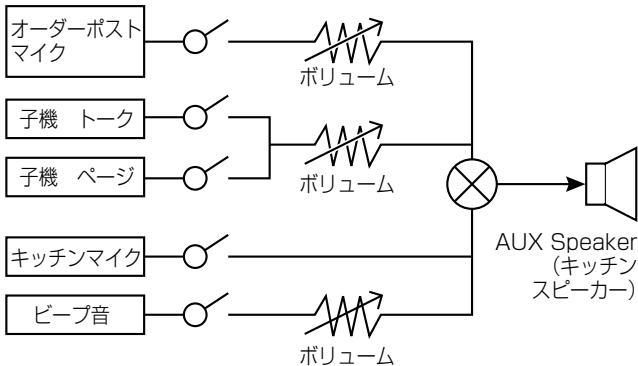
ライン出力のボリュームを設定します。

初期設定：11

レーン設定を行う [Lane]

■AUX Speakerの設定を行う

キッチンスピーカーに出力する音声の選択とその音量を設定します。キッチンスピーカーに出力する音声のバランスを調整します。



1 設定メニュー画面→ [Lane] ボタン→ [AUX Speaker] ボタンの順にタッチします。



2 キッチンスピーカーに出力する音声とそのボリュームを設定します。

ボリュームは0～20の範囲で設定できます。

[Outside Mic]

キッチンスピーカーにオーダーポストマイクの音声を出力するかどうかを設定します。また、オーダーポストマイクの音声を出力する場合のボリュームを設定します。

OFF：オーダーポストマイクの音声をキッチンスピーカーに出力しません。

ON：オーダーポストマイクの音声をキッチンスピーカーに出力します。

初期設定：ON/OFF : ON

ボリューム : 11

[Headsets]

キッチンスピーカーに子機からのトーク [TALK] 音声、ページ [PAGE] 音声を出力するかどうかを設定します。また、トーク [TALK] 音声、ページ [PAGE] 音声を出力する場合のボリュームを設定します。

OFF：トーク [TALK] またはページ [PAGE] 音声をキッチンスピーカーに出力しません。

ON：トーク [TALK] またはページ [PAGE] 音声をキッチンスピーカーに出力します。

初期設定：TALK : ON

PAGE : ON

ボリューム : 11

[AUX Mic]

キッチンスピーカーにキッチンマイクの音声を出力するかどうかを設定します。キッチンマイクのボリューム設定は全出力共通で「入力音量の設定を行う」(26ページ) で設定します。

OFF：キッチンマイクの音声をキッチンスピーカーに出力しません。

ON：キッチンマイクの音声をキッチンスピーカーに出力します。

初期設定：ON

[Beep]

キッチンスピーカーにビープ音を出力するかどうかを設定します。また、ビープ音を出力する場合のボリュームを設定します。

OFF：ビープ音をキッチンスピーカーに出力しません。

ON：ビープ音をキッチンスピーカーに出力します。

初期設定：ON/OFF : ON

ボリューム : 11

メモ

- [Terminal] 設定の [VDET1] を「Call Button」に設定している場合、呼び出しボタンを押したときにオーダーポストスピーカーから出力されるビープ音の音量設定は [AUX Speaker] 設定の [Beep] と共にになります。

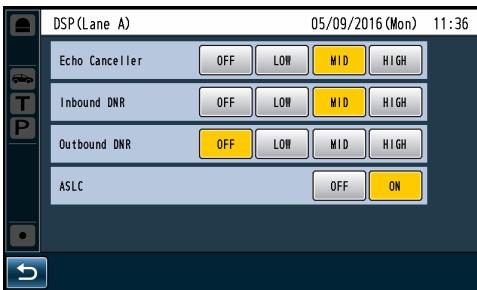
詳しくは「端子の設定を行う [Terminal]」(15ページ) をお読みください。

レーン設定を行う [Lane]

■DSPの設定を行う

音声信号処理に関する3つの機能(エコーキャンセラー、デジタルノイズリダクション、ASLC)をそれぞれ設定できます。

- 1 設定メニュー画面→[Lane]ボタン→[DSP]ボタンの順にタッチします。



[Echo Canceller]

エコーキャンセラーの設定を行います。

子機を持つ従業員の音声がオーダーポストのスピーカーから拡声され、オーダーポストのマイクがこの音声を拾い、この音声が子機を持つ従業員のスピーカーへ戻ること(エコー)を抑制する機能です。

エコー抑圧のレベルを[OFF]／[LOW]／[MID]／[HIGH]ボタンで設定できます。

OFF：本機能は動作しません。

LOW：エコー抑圧量 小

MID：エコー抑圧量 中

HIGH：エコー抑圧量 大

初期設定：MID

メモ

- エコー抑圧量が大きくなるにつれて、相手の音声も抑圧してしまい、通話品質が劣化してしまうことがあります。

[Inbound DNR]

受信音声のデジタルノイズリダクションの設定を行います。

オーダーポストマイクから入力される周囲雑音を除去して、顧客からの音声をより高品位に聞き取ることができます。マイク周囲の環境に合わせて設定してください。

ノイズ抑圧のレベルを[OFF]／[LOW]／[MID]／[HIGH]ボタンで設定できます。

OFF：本機能は動作しません。

LOW：ノイズ抑圧量 小

MID：ノイズ抑圧量 中

HIGH：ノイズ抑圧量 大

初期設定：MID

メモ

- ノイズ抑圧量が大きくなるにつれて、来客の音声も抑圧してしまい、音質劣化してしまうことがあります。

[Outbound DNR]

送信音声のデジタルノイズリダクションの設定を行います。

店舗内の周囲雑音を除去して、店員の音声をより高品質にオーダーポストから送出できるようにします。

店員マイク周囲の環境に合わせて設定してください。

ノイズ抑圧のレベルを[OFF]／[LOW]／[MID]／[HIGH]ボタンで設定できます。

OFF：本機能は動作しません。

LOW：ノイズ抑圧量 小

MID：ノイズ抑圧量 中

HIGH：ノイズ抑圧量 大

初期設定：OFF

メモ

- ノイズ抑圧量が大きくなるにつれて、店員の音声も抑圧してしまい、音質劣化してしまうことがあります。

[ASLC]

ASLCの設定を行います。

ASLCはAuto Speaker Level Control(自動スピーカー音量制御)の略です。

オーダーポストの周囲騒音の大きさに応じてオーダーポストスピーカーの音量を自動的に調整します。

OFF：本機能は動作しません。

ON：騒音レベルに応じて自動でスピーカーの音量を調節します。

初期設定：ON

メモ

- 以下の場合、ASLCの設定によらず、ASLC機能は動作しません。
 - Nighttime Volumeが有効
 - Outside Speakerの音量が0

メッセージの設定を行う [Message]

グリーターメッセージ、リマインダーメッセージ、アラートメッセージの設定を行います。

グリーターメッセージ

車両感知器がオーダーポスト上で車を感知するとオーダーポストスピーカーから自動的に再生する接客用のメッセージです。

リマインダーメッセージ

従業員に対して作業を促すため、定刻に再生するメッセージです。

アラートメッセージ

セキュリティアラートが発生した時にアラート発生を従業員に知らせるために再生するメッセージです。

グリーターメッセージ、リマインダーメッセージ、アラートメッセージを使用するには事前に録音する必要があります。

メモ

- メッセージはSDカードに録音されます。メッセージを使用する際は必ずSDカードを挿入してください。
- センターモジュールの音質を「Wideband」に設定していても、グリーターメッセージ、リマインダーメッセージ、アラートメッセージはナローバンドの音質で再生されます。

メッセージ番号について

メッセージはメッセージ番号で管理します。メッセージ番号の先頭にはメッセージの種別を表す以下の文字が表示されます。

G : グリーターメッセージ

R : リマインダーメッセージ

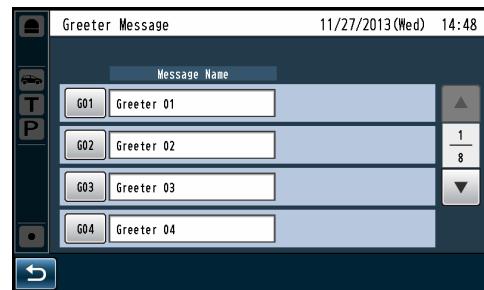
A : アラートメッセージ

例) G03 : グリーターメッセージの3番目のメッセージを表します。

■メッセージを録音する

ここではグリーターメッセージの録音を例に説明します。リマインダーメッセージやアラートメッセージも同様の手順で録音することができます。

- 1 設定メニュー画面→[Message] ボタン→[Greeter Message] ボタン→[Message] ボタンの順にタッチします。

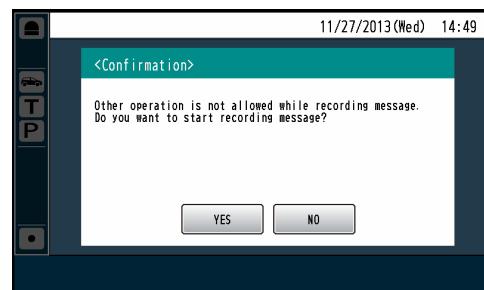


- 2 メッセージ一覧から録音するメッセージ番号のボタンをタッチします。



- 3 [REC] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。メッセージ録音中は他の操作はできませんので、録音を続ける場合は [YES] ボタンをタッチします。録音を中止する場合は [NO] ボタンをタッチします。



- [YES] ボタンをタッチすると、次の画面が表示されます。



メッセージの設定を行う [Message]

4 子機でページを行い、録音を開始します。

- 画面指示にしたがって、レーンAの子機でページ操作を行うとビープ音が鳴動し、録音が開始します。

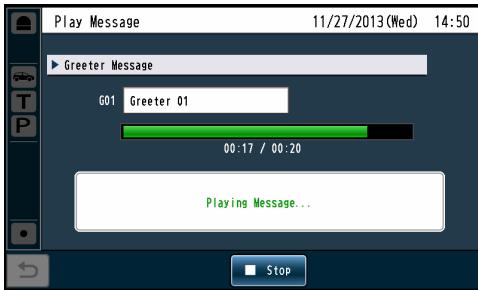


メモ

- メッセージの最大録音時間は20秒です。最大録音時間に達すると強制的に録音を終了します。
- 録音以外の操作は無効になります。ただし、セキュリティアラートが発生した場合は即座に録音を中断します。
- 複数の子機でページを行うとページ音声がミキシングされて録音されます。

5 録音を停止します。

- すべての子機でページを終了するか、画面の [Stop] ボタンをタッチすると録音を終了します。
- 録音を停止すると録音した内容をレーンAの子機に自動的に再生します。

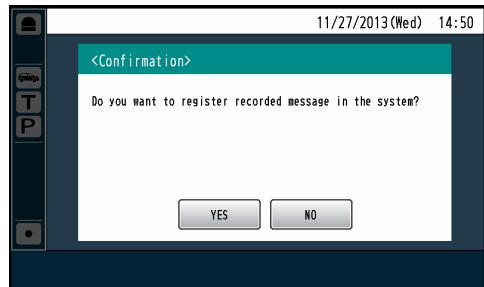


メモ

- 画面の [Stop] ボタンをタッチして録音を終了すると、ページは継続します。

6 録音した音声をメッセージに登録します。

- 録音を終了すると登録確認画面が表示されます。



- [YES] ボタンをタッチすると録音した音声がメッセージに登録されます。同じメッセージ番号に録音済みメッセージがある場合は、上書き保存します。
- [NO] ボタンをタッチすると録音した内容を破棄します。

メモ

- 録音メッセージはG.726音源ファイルでSDカードに保存されます。パソコンで再生する場合はG.726のコーデックあるいは再生ソフトが必要です。
フォルダ : <SDカードルート>¥PRIVATE¥PANA_GRP¥PSN¥DWCS¥MESSAGE
音源ファイル名 : ○○_MSG△△.wav
(○○はGR : グリーター / RM : リマインダー / AL : アラート、△△はメッセージ番号01-30)

メッセージの設定を行う [Message]

■メッセージを確認再生する

メッセージの内容を確認するため、メッセージをレーンAの子機に再生します。

ここではグリーターメッセージの確認再生を例に説明します。リマインダーメッセージやアラートメッセージも同様の手順で確認再生することができます。

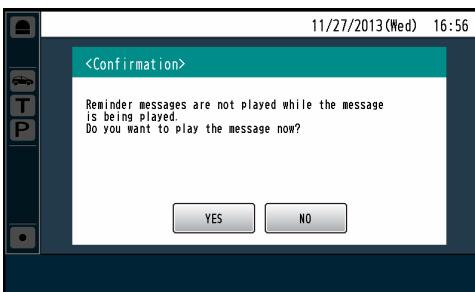
1 設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Greeter Message] ボタン→ [Message] ボタンの順にボタンをタッチします。

2 メッセージ一覧から再生するメッセージ番号のボタンをタッチします。



3 [Play] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。メッセージ再生中はリマインダーメッセージの再生はできませんので、再生を続ける場合は [YES] ボタンをタッチします。再生を中止する場合は [NO] ボタンをタッチします。



- [YES] ボタンをタッチするとメッセージが再生されます。

メモ

- SDカードが挿入されていない場合やメッセージが録音されていない場合は [Play] ボタンをタッチすることはできません。

■グリーターメッセージの設定を行う

来客に対して「挨拶」に相当する音声メッセージを伝える機能です。車両感知器が車を感知するとオーダーポストから自動的にグリーターメッセージを流します。

メッセージの設定を行う [Message]

グリーターメッセージの全体設定を行う

グリーターメッセージ全体の設定を行います。

- 1 設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Greeter Message] ボタン→ [Common] ボタンの順にタッチします。



[ON/OFF]

グリーターメッセージを使用するかどうかを設定します。

OFF：グリーターメッセージを再生しません。

ON： グリーターメッセージを再生します。

初期設定：ON

[Volume]

グリーターメッセージのボリュームを設定します。

ボリュームは0～20の範囲で設定できます。

初期設定：11

[Delay Time]

車両感知器が車を感知してからグリーターメッセージを再生するまでの遅延時間を設定します。

遅延時間は0～10秒の範囲で1秒単位で設定できます。

初期設定：0秒

[Destination]

グリーターメッセージ再生時、オーダーポストスピーカーの他に再生する放送先を選択します。

● [All Headsets]

OFF：どの子機にも放送しません。

ON： すべての子機に放送します。

初期設定：OFF

● [AUX Speaker]

OFF：キッチンスピーカーには放送しません。

ON： キッチンスピーカーに放送します。

初期設定：OFF

メモ

- ON設定時は、車両を感知したレーンの子機とキッチンスピーカーにグリーターメッセージが放送されます。

グリーターメッセージの個別設定を行う

グリーターメッセージ個別の設定を行います。グリーターメッセージは最大30メッセージまで使用することができます。

- 1 設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Greeter Message] ボタン→ [Message] ボタンの順にタッチします。

- 2 メッセージ一覧から設定するメッセージ番号のボタンをタッチします。



- 3 グリーターメッセージの設定を行います。

[Message Name]

[Edit] ボタンをタッチしてメッセージ名の編集を行います。(英数字記号最大18文字以内)

初期設定：Greeter nn (nn：メッセージ番号01～30)

- 4 [Set] ボタンをタッチします。

- グリーターメッセージの設定が反映されます。

メッセージの設定を行う [Message]

グリーターメッセージのスケジュール設定を行う

グリーターメッセージのスケジュールを設定します。自動的にグリーターメッセージを切り換え、時間帯に応じて異なるグリーターメッセージを再生することができます。

重要

- スケジュール設定を行わないと、車両感知器が車を感知してもグリーターメッセージを再生しません。グリーターメッセージを使用するには必ずスケジュール設定を行ってください。
- グリーターメッセージのスケジュール設定よりもストアワーズの設定が優先されます。

1 設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Greeter Message] ボタン→ [Schedule] ボタンの順にタッチします。

- 曜日選択画面が表示されます。

2 スケジュールを登録する、曜日ボタンをタッチします。

- 選択した曜日のスケジュール一覧が表示されます。



スケジュール番号ボタン：

設定済みのスケジュールを編集します。

[Add] ボタン：

新規にスケジュールを追加します。

[Copy To] ボタン：

選択した曜日のスケジュールをすべて他の曜日にコピーします。

[All Clear] ボタン：

選択した曜日のスケジュールをすべて削除します。

メモ

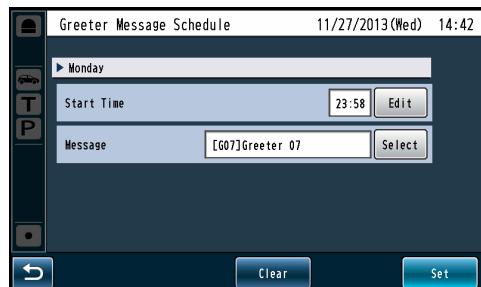
- 最大 12 のスケジュールを登録することができます。
- 表示中のスケジュールを他の曜日にコピーすることができます。「スケジュールをコピーするには」(34 ページ) を参照してください。
- 表示中のスケジュールをすべて削除することができます。「曜日のスケジュールを削除するには」(34 ページ) を参照してください。

重要

- 00:00 から最初のスケジュールが設定されている時刻までは車両感知器が車を感知してもグリーターメッセージを再生しません。

3 スケジュールの設定を行います。

- 新規にスケジュールを追加する場合は [Add] ボタンをタッチします。
- 設定済みのスケジュールを編集する場合はスケジュール番号のボタンをタッチします。



[Start Time]

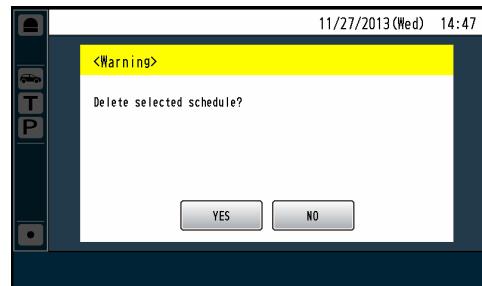
[Edit] ボタンをタッチしてグリーターメッセージの切り換え時刻を設定します。00:00 ~ 23:59 の分単位で設定できます。

[Message]

[Select] ボタンをタッチして設定時刻以降に再生するグリーターメッセージを選択します。

メモ

- 選択中のスケジュールを削除するには [Clear] ボタンをタッチします。[Clear] ボタンをタッチすると次の確認ポップアップ画面が表示されます。選択中のスケジュールを削除する場合は [YES] ボタンをタッチします。削除せずに戻る場合は [NO] ボタンをタッチします。



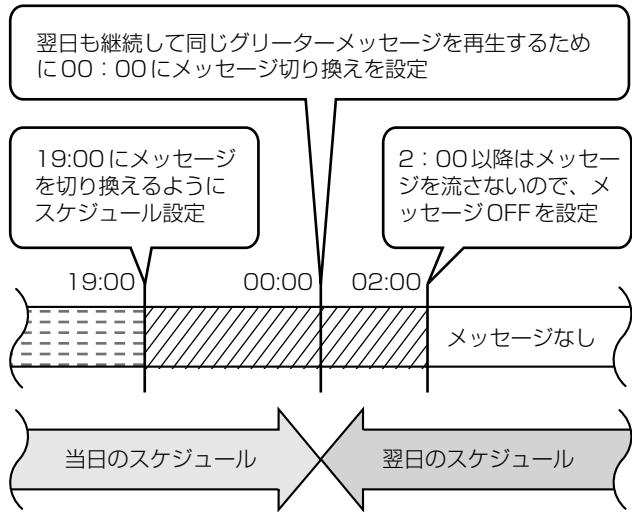
メッセージの設定を行う [Message]

4 [Set] ボタンをタッチします。

- 設定した内容がスケジュールに反映されます。

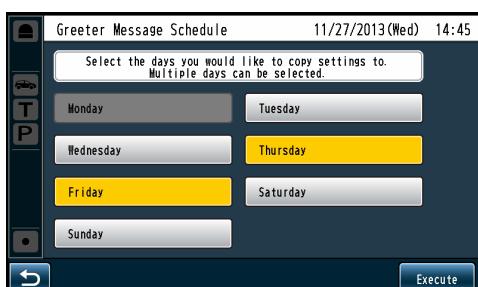
メモ

- グリーターメッセージのスケジュール設定は日またぎしません。日をまたいで同じメッセージを再生したい場合は、翌日の00:00にも同じスケジュール設定を行ってください。



スケジュールをコピーするには

表示中のスケジュールを他の曜日にコピーすることができます。[Copy to] ボタンをタッチすると曜日選択画面が表示されます。



コピー先の曜日を選択して、[Execute] ボタンをタッチします。

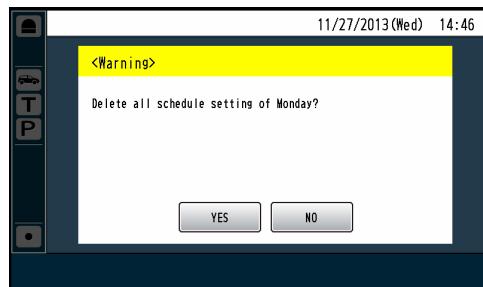
選択した曜日にスケジュールがコピーされます。

メモ

- コピー先の曜日は複数選択することができます。

曜日のスケジュールを削除するには

表示中のスケジュールをすべて削除することができます。[All Clear] ボタンをタッチすると次の確認ポップアップ画面が表示されます。スケジュールをすべて削除する場合は [YES] ボタンをタッチします。削除せずに戻る場合は [NO] ボタンをタッチします。



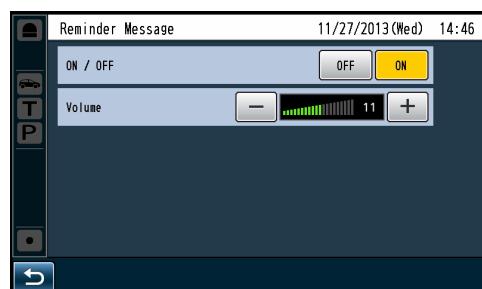
■リマインダーメッセージの設定を行う

あらかじめ設定したスケジュールにしたがって、リマインダーメッセージを再生します。定刻に従業員へ作業指示を行うときなどに使用します。

リマインダーメッセージの全体設定を行う

リマインダーメッセージ全体の設定を行います。

1 設定メニュー画面→[Message] ボタン→[Reminder Message] ボタン→[Common] ボタンの順にタッチします。



[ON/OFF]

リマインダーメッセージを使用するかどうかを設定します。

OFF：リマインダーメッセージを再生しません。

ON：リマインダーメッセージを再生します。

初期設定：ON

[Volume]

リマインダーメッセージのボリュームを設定します。ボリュームは0～20の範囲で設定できます。

初期設定：11

メッセージの設定を行う [Message]

リマインダーメッセージの個別設定を行う

リマインダーメッセージ個別の設定を行います。リマインダーメッセージは最大30メッセージまで使用することができます。

1 設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Reminder Message] ボタン→ [Message] ボタンの順にタッチします。

2 メッセージ一覧から設定するメッセージ番号のボタンをタッチします。



3 リマインダーメッセージの設定を行います。

[Message Name]

[Edit] ボタンをタッチしてメッセージ名の編集を行います。(英数字記号最大18文字以内)

初期設定: Reminder nn (nn: メッセージ番号 01~30)

[Destination]

リマインダーメッセージの放送先を選択します。

● [Group]

[Select] ボタンをタッチして放送先の子機を選択します。

All Headsets: すべての子機に放送します。

Group番号: 選択したグループに属する子機に放送します。

初期設定: All Headsets

メモ

● Group番号は1~6から選択します。複数選択することができます。

● [AUX Speaker]

リマインダーメッセージをキッチンスピーカーに出力するかどうかの設定を行います。

OFF: キッチンスピーカーに出力しません。

ON: キッチンスピーカーに出力します。

初期設定: ON

4 [Set] ボタンをタッチします。

● リマインダーメッセージの設定が反映されます。

リマインダーメッセージのスケジュール設定を行う

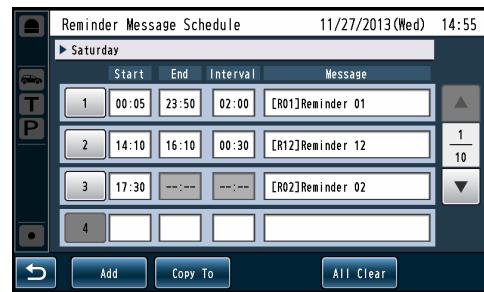
リマインダーメッセージのスケジュールを設定します。定刻に対象のグループに対してリマインダーメッセージを再生することができます。

1 設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Reminder Message] ボタン→ [Schedule] ボタンの順にタッチします。

● 曜日選択画面が表示されます。

2 スケジュールを登録する、曜日ボタンをタッチします。

● 選択した曜日のスケジュール一覧が表示されます。



スケジュール番号ボタン:

設定済みのスケジュールを編集します。

[Add] ボタン:

新規にスケジュールを追加します

[Copy To] ボタン:

選択した曜日のスケジュールをすべて他の曜日にコピーします。

[All Clear] ボタン:

選択した曜日のスケジュールをすべて削除します。

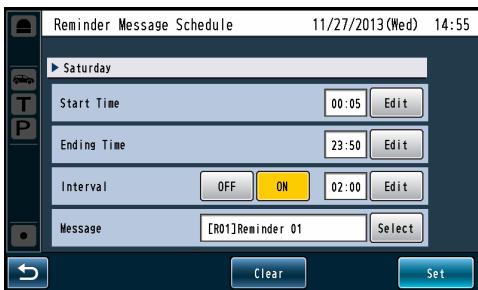
メモ

- 最大40のスケジュールを登録することができます。
- 表示中のスケジュールを他の曜日にコピーすることができます。「スケジュールをコピーするには」(34ページ) を参照してください。

メッセージの設定を行う [Message]

3 スケジュールの設定を行います。

- 新規にスケジュールを追加する場合は [Add] ボタンをタッチします。
- 設定済みのスケジュールを編集する場合はスケジュール番号のボタンをタッチします。



[Start Time]

[Edit] ボタンをタッチしてリマインダーメッセージの再生時刻を設定します。00:00 ~ 23:59の分単位で設定できます。

[Ending Time]

[Edit] ボタンをタッチしてリマインダーメッセージの繰り返し再生時の終了時刻を設定します。00:00 ~ 23:59の分単位で設定できます。

Interval設定をONにすると設定することができます。

[Interval]

リマインダーメッセージを繰り返し再生するかどうかの設定を行います。

OFF：開始時刻に一度だけ再生します。

ON：開始時刻から定間隔でリマインダーメッセージを繰り返し再生します。

Interval設定がONの時、繰り返し間隔を設定します。

[Edit] ボタンをタッチして繰り返し間隔を設定します。繰り返し間隔は00:01 ~ 23:59の分単位で設定できます。

[Message]

[Select] ボタンをタッチして設定時刻以降に再生するリマインダーメッセージを選択します。

メモ

- 開始時刻と終了時刻が同じ場合は、開始時刻に1回だけ再生します。
- 繰り返し間隔が開始時刻と終了時刻の差より長い場合は、開始時刻に1回だけ再生します。

■アラートメッセージの設定を行う

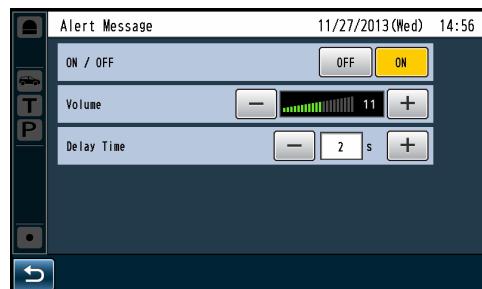
セキュリティアラートが発生した時に従業員に注意を促すアラートメッセージに関する設定を行います。

セキュリティアラート発生時の動作は「セキュリティアラートの設定を行う [Security Alert]」(38ページ) を参照してください。

アラートメッセージの全体設定を行う

アラートメッセージ全体の設定を行います。

- 設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Alert Message] ボタン→ [Common] ボタンの順にタッチします。



[ON/OFF]

アラートメッセージを使用するかどうかを設定します。

OFF：アラートメッセージを再生しません。

ON：アラートメッセージを再生します。

初期設定：ON

[Volume]

アラートメッセージのボリュームを設定します。

ボリュームは0 ~ 20の範囲で設定できます。

初期設定：11

[Delay Time]

アラート発生からメッセージ再生開始までの遅延時間を設定します。

遅延時間は0秒~10秒の範囲で1秒単位で設定できます。

初期設定：0秒

メッセージの設定を行う [Message]

アラートメッセージの個別設定を行う

アラートメッセージ個別の設定を行います。アラートメッセージは最大30メッセージまで使用することができます。

1 設定メニュー画面→ [Message] ボタン→ [Alert Message] ボタン→ [Message] ボタンの順にタッチします。

2 メッセージ一覧から設定するメッセージ番号のボタンをタッチします。



3 アラートメッセージの設定を行います。

[Message Name]

[Edit] ボタンをタッチしてメッセージ名の編集を行います。(英数字記号最大18文字以内)

初期設定: Alert nn (nn: メッセージ番号01 ~ 30)

[Destination]

アラートメッセージの放送先を選択します。

● [Group]

[Select] ボタンをタッチして放送先の子機を選択します。

All Headsets: すべての子機に放送します。

Group番号: 選択したグループに属する子機に放送します。

初期設定: All Headsets

メモ

- Group番号は1~6から選択します。複数選択することができます。

● [AUX Speaker]

アラートメッセージをキッチンスピーカーに出力するかどうかの設定を行います。

OFF: キッチンスピーカーに出力しません。

ON: キッチンスピーカーに出力します。

初期設定: ON

4 [Set] ボタンをタッチします。

- アラートメッセージの設定が反映されます。

セキュリティアラートの設定を行う [Security Alert]

子機のFボタンやアラート入力1～4でセキュリティアラート通知を受け取った時の動作を設定します。セキュリティアラート発生時の動作は以下から選択することができます。

メモ

- [Terminal] 設定の [ALERT4] で、アラート4入力を「Speed Team Button」に設定している場合は、アラート4の設定は無効となります。

アラートメッセージの再生

セキュリティアラートが発生している間、アラートメッセージを5秒間隔で繰り返し再生します。

NWカメラモニタリング

セキュリティアラートが発生している間、NWカメラの映像を液晶画面に出力します。事前にブラウザからNWカメラの設定を行う必要があります。詳しくは、取扱説明書ブラウザ編をお読みください。

メモ

- セキュリティアラートに連動して液晶画面にネットワークカメラの映像を表示すると、表示された映像に赤の枠が表示されます。

外部制御出力

セキュリティアラートが発生している間、外部制御出力端子を制御します。外部機器を制御するときに使用します。

通話記録

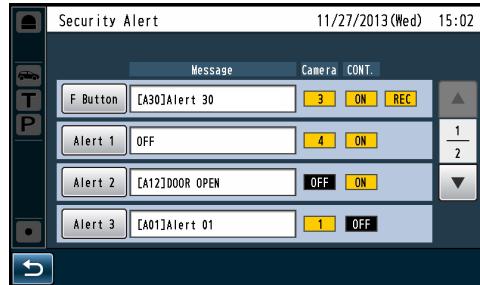
セキュリティアラートが発生している間、子機が所属しているレーンの通話音声（トーク [TALK]、ページ [PAGE]）をSDカードに録音します。最大5分間録音することができます。子機のFボタンによるセキュリティアラートのみ選択できます。

E-mail送信

アラート発生、終了のタイミングでメールを送信します。セキュリティアラート発生時にメールを送信するにはブラウザで設定を行ってください。詳しくは、取扱説明書 ブラウザ編をお読みください。

1 設定メニュー画面→[Security Alert] ボタンの順にタッチします。

- セキュリティアラートの発生種別が表示されます。



[F Button]

子機のFボタン押下によるセキュリティアラート発生時の動作を設定します。

メモ

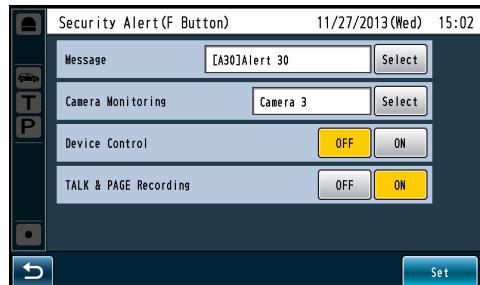
- Fボタンによるセキュリティアラートは発生後2分を経過すると自動的に終了します。セキュリティアラート発生中に、再度Fボタンによるセキュリティアラート通知を受信すると終了までの時間を2分間延長します。
- WX-CH457、WX-CH455にはFボタンはありません。セキュリティアラート発生の操作方法は、WX-CH457またはWX-CH455の取扱説明書の「アラート通知」を参照してください。

[Alert 1～4]

アラート入力端子1～4によるセキュリティアラート発生時の動作を設定します。

2 セキュリティアラート発生時の動作を設定します。

[F Button] を選択した場合



[Message]

[Select] ボタンをタッチしてセキュリティアラート発生時に再生するアラートメッセージを選択します。

OFF : アラートメッセージを再生しません。

メッセージ番号 : 選択したアラートメッセージを再生します。

初期設定 : OFF

セキュリティアラートの設定を行う [Security Alert]

[Camera Monitoring]

[Select] ボタンをタッチしてセキュリティアラート発生時に液晶画面に表示するネットワークカメラを選択します。

OFF : ネットワークカメラの映像を表示しません。
カメラ番号 : 選択したネットワークカメラの映像を液晶画面に表示します。

初期設定 : OFF

[Device Control]

外部制御出力を制御するかどうかを設定します。

OFF : 外部制御出力を制御しません。

ON : 外部制御出力を制御します。

初期設定 : OFF

[TALK & PAGE Recording]

セキュリティアラートが発生したレーンの通話音声(トーク [TALK]、ページ [PAGE])をSDカードに録音します。

OFF : 通話音声を録音しません。

ON : 通話音声を録音します。

初期設定 : OFF

メモ

- 通話録音は最大5分まで録音することができます。
- 通話録音の最大件数は100件です。100件を超えると一番古い録音ファイルを上書きします。
- 録音できる時間はSDカードの容量に依存します。SDカードの残容量が1分間に満たない場合は、録音件数が100件に達していくなくても一番古い録音ファイルを削除し、空き容量を増やします。その後、容量が許す限り録音します。
- 通話録音時に保存された音声はSDカードに「YYYYMMDD_hhmmss_“LANE”_nn(_D).wav」のファイル名で保存されます。(YYYYMMDD_hhmmssはそれぞれセキュリティアラートが発生したYYYY:年、MM:月、DD:日、hh:時、mm:分、ss:秒を表します。また、“LANE”はセキュリティアラートが発生したレーンを表します) サマータイム中に通話録音したときは、ファイル名に“_D”が追加されます。
- 音声ファイルの保存先は「SDカードのフォルダ構成について」(43ページ)を参照してください。

[Alert 1~4] (アラート入力端子)を選択した場合



[Message]

[Select] ボタンをタッチしてセキュリティアラート発生時に再生するアラートメッセージを選択します。

OFF : アラートメッセージを再生しません。

メッセージ番号 : 選択したアラートメッセージを再生します。

初期設定 : OFF

[Camera Monitoring]

[Select] ボタンをタッチしてセキュリティアラート発生時に液晶画面に表示するネットワークカメラを選択します。

OFF : ネットワークカメラの映像を表示しません。
カメラ番号 : 選択したネットワークカメラの映像を液晶画面に表示します。

初期設定 : OFF

[Device Control]

外部制御出力を制御するかどうかを設定します。

OFF : 制御しない

ON : 制御する

初期設定 : OFF

[Alert Input Delay Time]

[Edit] ボタンをタッチしてアラート入力端子が制御されてからセキュリティアラート状態になるまでの遅延時間を設定します。遅延時間中にアラート入力が解除されればアラート状態になりません。

0秒~29分59秒の範囲を1秒単位で設定できます。

初期設定 : 00:00 (00分00秒)

SD カードを操作する [SD Memory Card]

SDカードに現在の設定、メッセージをバックアップすることができます。また、バックアップした設定、メッセージを復元(リストア)することができます。

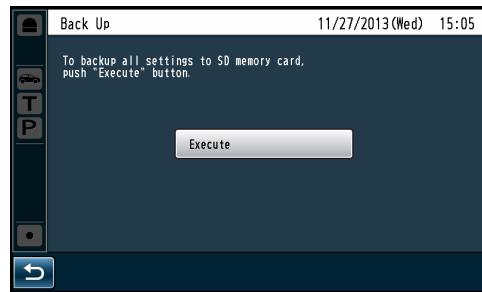
重要

- SDカードアクセスLED点滅中はSDカードや電源プラグを抜いたり、リセットボタンを押したりしないでください。データが破壊されることがあります。

■ 設定データとメッセージをバックアップする

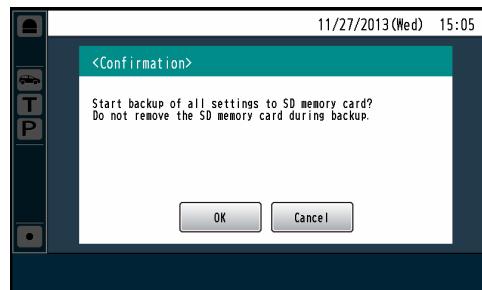
現在の設定とメッセージをSDカードへバックアップする機能です。

- 1 設定メニュー画面→[SD Memory Card]ボタン→[Back Up]ボタンの順にタッチします。

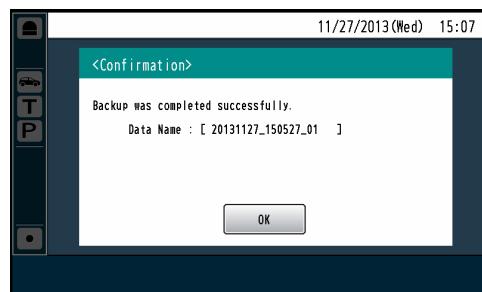


- 2 [Execute]ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。バックアップを続ける場合は[OK]ボタンをタッチします。バックアップを中止する場合は[Cancel]ボタンをタッチします。



- [OK]ボタンをタッチするとバックアップが開始されます。正常にバックアップが完了すると、完了ポップアップ画面が表示されます。



- SDカードのBACKUPフォルダに「Data Name」で記された名前のフォルダが作成され、バックアップしたデータが保存されます。

メモ

- SDカードのフォルダ構成については「SDカードのフォルダ構成について」(43ページ)を参照してください。

SD カードを操作する [SD Memory Card]

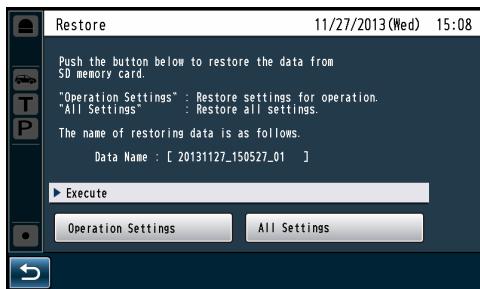
■バックアップデータをリストアする

SD カードにバックアップしたデータを復元する機能です。

1 設定メニュー画面→ [SD Memory Card] ボタン→ [Restore] ボタンの順にタッチします。

- バックアップデータが一覧で表示されます。

2 リストアするデータボタンをタッチします。



3 リストアの種別を選択します。

以下のいずれかのボタンをタッチしてリストアの種別を実行します。

[Operation Settings]

次の設定を本機に反映します。季節ごとの設定差し替えや他店舗からの設定を流用する際に使用します。

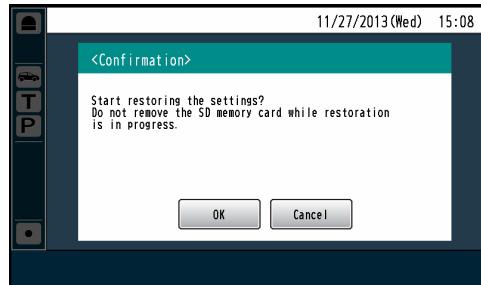
- ・子機グループ設定
- ・ナイトタイムボリューム設定
- ・ストアアワーズ設定
- ・各種音量設定
- ・DSP 設定
- ・各種メッセージ設定
- ・シングルトーカー設定

[All Settings]

ネットワーク設定、NW カメラ設定などを含むすべての設定を本機に反映します。故障時など、故障前の設定に戻したいときに使用します。

[Operation Settings] の場合

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。リストアを実行するには [OK] ボタンをタッチします。リストアを中止する場合は [Cancel] ボタンをタッチします。

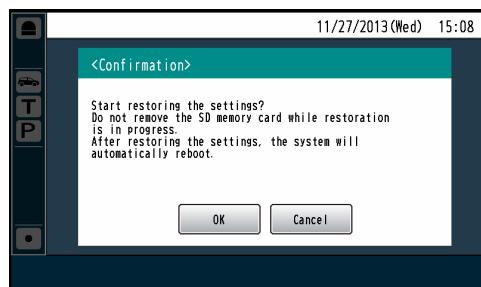


- [OK] ボタンをタッチするとリストアが開始されます。正常にリストアが完了すると、完了ポップアップ画面が表示されます。



[All Settings] の場合

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。リストアを実行するには [OK] ボタンをタッチします。リストアを中止する場合は [Cancel] ボタンをタッチします。



- [OK] ボタンをタッチするとリストアが開始されます。リストアを実行すると、自動的に再起動します。

SD カードを操作する [SD Memory Card]

メモ

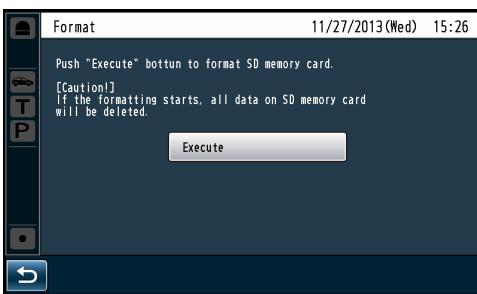
- リストア前に使用していたSDカード上のメッセージ用音源ファイルは削除され、リストアデータに含まれる音源ファイルに置き換わります。必要に応じてバックアップしてください。
- 子機登録情報はリストアされません。
- 「All Settings」でリストアを実行すると、自動的に再起動します。
- 以下のセンター モジュールで取得したバックアップデータを、WX-CC411Bにリストアすることはできません。
また、WX-CC411Bで取得したバックアップデータを、以下のセンター モジュールにリストアすることもできません。
 - WX-CC411
 - WX-CC412
 - WX-CC411A
 - WX-CC412A

SD カードを操作する [SD Memory Card]

■ SD カードをフォーマットする

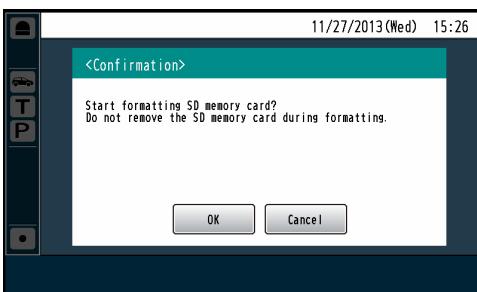
SD カードをフォーマットする機能です。パソコンなど他の機器でフォーマットされた SD カードは、本機で使用できない場合があります。必ず本機でフォーマットしてからご使用ください。

- 1 設定メニュー画面→ [SD Memory Card] ボタン→ [Format] ボタンの順にボタンをタッチします。

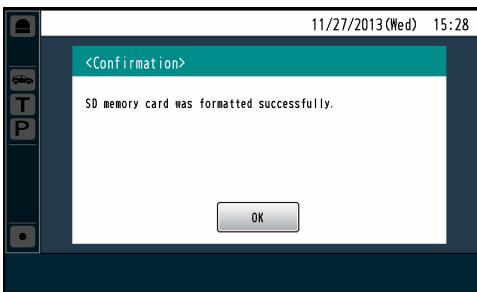


- 2 [Execute] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。フォーマットを実行する場合は [OK] ボタンをタッチします。フォーマットを中止する場合は [Cancel] ボタンをタッチします。

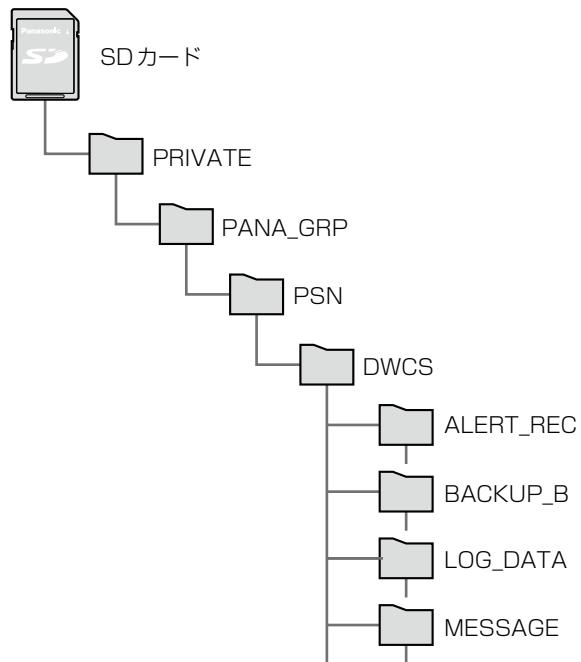


- [OK] ボタンをタッチすると、SD カードのフォーマットを実行します。正常にフォーマットが完了すると、完了ポップアップ画面が表示されます。



SD カードのフォルダ構成について

本機に SD カードを挿入すると SD カードに以下のフォルダが作成されます。



[DWCS] フォルダ

本機のルートフォルダです。このフォルダ以下に本機が使用する各種データが配置されます。

[ALERT_REC] フォルダ

子機からのセキュリティアラート発生時に通話録音された音源ファイルが保存されます。

[BACKUP_B] フォルダ

バックアップしたデータがフォルダ単位で保存されます。リストア実行時はこのフォルダにあるデータをリストアします。

[LOG_DATA] フォルダ

メンテナンス時に使用するフォルダです。

[MESSAGE] フォルダ

メッセージ用の音源ファイルが保存されます。

重要

- パソコンでフォルダやファイルを削除したり、名前を変更しないでください。

重要

- フォーマットすると、SD カードに記録されているデータはすべて消去され、元に戻すことができません。大切なデータは事前にパソコンなどに保存してください。

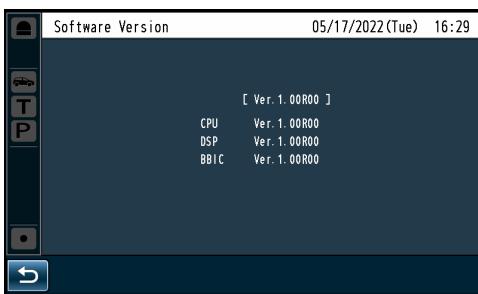
メンテナンスを行う [Maintenance]

センターモジュールのソフトウェアバージョンを確認したり、工場出荷状態にすることができます。

■ソフトウェアバージョンを表示する

センターモジュールのソフトウェアバージョンを表示します。

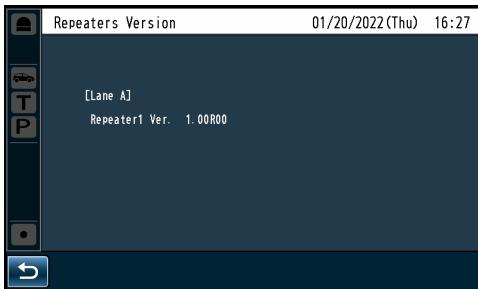
- 1 設定メニュー画面→ [Maintenance] ボタン→ [Software Version] ボタンの順にタッチします。



■ワイヤレスリピーターのソフトウェアバージョンを表示する

センターモジュールに登録されているワイヤレスリピーターのソフトウェアバージョンを表示します。

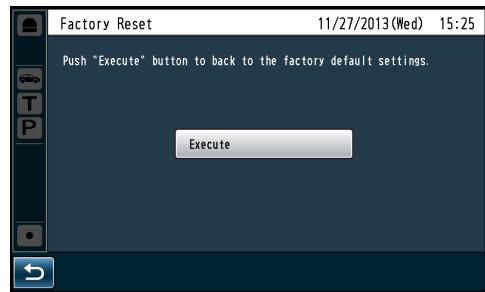
- 1 設定メニュー画面→ [Maintenance] ボタン→ [Repeaters Version] ボタン※の順にタッチします。
※ワイヤレスリピーターが1台もID登録されていない場合は、[Repeaters Version] ボタンは操作できません。



■設定データの初期化を行う

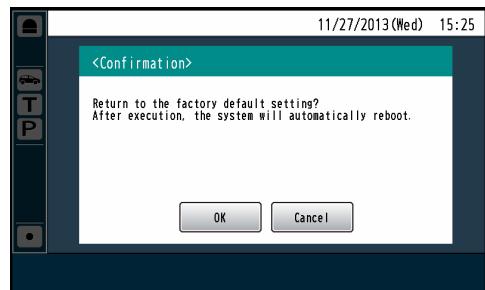
設定を工場出荷状態に戻す機能です。子機の登録情報やメッセージを含むデータを初期化します。日時の設定は初期化されません。

- 1 設定メニュー画面→ [Maintenance] ボタン→ [Factory Reset] ボタンの順にタッチします。



- 2 [Execute] ボタンをタッチします。

- 次の確認ポップアップ画面が表示されます。初期化を実行する場合は [OK] ボタンをタッチします。初期化フォーマットを中止する場合は [Cancel] ボタンをタッチします。



- [OK] ボタンをタッチすると初期化を実行します。

メモ

- 初期化完了後は自動的に再起動します。
- 日時の設定は初期化されません。
- 初期化完了後、最初に設定メニューを表示する際は、パスワード設定が必要になります。

ポップアップメッセージについて

液晶画面に表示される代表的なポップアップメッセージと、その原因と対処方法について説明します。

分類	文言	原因・対策
Confirmation	SD card was read successfully.	SDカード挿入時、正常にSDカードの読み込みできたときに表示されます。
	Password was changed successfully.	パスワードが正常に変更されたときに表示されます。
	Mail transmission process accepted.	ヘルプコンタクト画面で実行したメール送信処理を受け付けたときに表示されます。
	Recording was stopped because the "PAGE" function has not been activated for a certain time.	メッセージ録音において一定時間PAGEが開始されなかったときに表示されます。再度、録音操作を行ってください。
Warning	Authentication failed. Please reconfirm your password.	パスワード認証に失敗したときに表示されます。正しいパスワードを入力してください。
	Settings have not been saved. Continue without saving?	設定変更や入力した内容を確定せず([Set]ボタンや[Enter]ボタンをタッチせず)に戻るボタンをタッチしたときに表示されます。確定せずに画面を遷移する場合は[YES]ボタンをタッチします。元の画面に戻る場合は[NO]ボタンをタッチします。
	No SD memory card is inserted.	SDカードが未挿入状態でSDカードにアクセスする操作を行ったときに表示されます。SDカードを挿入し、再度実行してください。
	The system failed to find the data on SD memory card.	SDカードからデータを読み込む操作を行ったときに対象のデータが存在しない場合に表示されます。
	SD memory card is write-protected.	SDカード挿入時や書き込み操作を行ったときにLOCK(書き込み禁止)に設定されていた場合に表示されます。SDカードのLOCKを解除してご使用ください。
	SD memory card was removed.	SDカードが抜かれたときに表示されます。
	Date & time is not correct. Please set current date & time.	現在日時が設定されていないときに表示されます。設定メニューから現在日時の設定を行ってください。
	Security alert has occurred. Process was terminated.	メッセージ録音中や確認再生中にセキュリティアラートが発生したときに表示されます。このとき、録音や再生は途中で中断されます。
	Processes are terminated during security alerts.	セキュリティアラート発生中にメッセージ録音や確認再生を行ったときに表示されます。セキュリティアラート発生中はこれらの操作を受け付けません。
	The message playback was stopped for the following reason: Alert V/Det: ON TALK PAGE	レーンAのセキュリティアラート、車両感知器入力、TALK、PAGEにより、確認再生を中止したときに表示されます。
	Message playback cannot be performed under the following conditions. Alert V/Det: ON TALK PAGE	レーンAのセキュリティアラート、車両感知器入力、TALK、PAGEのいずれかが発生中に、確認再生の操作を行った場合に表示されます。この状態では確認再生を行うことはできません。

ポップアップメッセージについて

分類	文言	原因・対策
Warning	No headset is registered.	登録されている子機がいない状態でグループ設定や子機の削除を行ったときに表示されます。
Error	Unable to set the password. Please check the following: - The "Old Password" has been entered correctly. - The "New Password" and "Old Password" are not the same. - The same passwords have been entered for "New Password" and "Confirm New Password".	パスワードの変更に失敗したときに表示されます。以下の内容を確認して、再度パスワードを変更して下さい。 <ul style="list-style-type: none">● 現在のパスワードが正しいこと● 現在のパスワードと新しいパスワードが異なっていること● 新しいパスワードと確認のため入力した新しいパスワードが一致していること
	An error has been found. Please check settings again	設定画面で [Set] ボタンをタッチしたとき、設定に誤りがあるとき場合に表示されます。設定内容に不備がないか確認して下さい。
	Message playback has failed. Please try again later.	メッセージの確認再生に失敗したときに表示されます。時間を置いて再度再生操作を行ってください。
	Message recording has failed. Please try again later.	メッセージの録音に失敗したときに表示されます。時間を置いて再度録音操作を行ってください。
	Processing has not been executed. Please try again later.	実行中の処理が失敗したときに表示されます。時間を置いて再度同じ操作を行ってください。
	Not enough free space on SD memory card. Process aborted.	SDカードの容量が不足している状態でデータ保存を行ったときに表示されます。PCで空き容量を増やすかフォーマットを実施してから、再度実行してください。
	Data error on SD memory card. Process aborted.	SDカードからデータを読み込む操作を行ったときに対象データにエラーがあった場合に表示します。データの読み込み処理を中止します。
	The system failed to read the data from SD memory card.	SDカードからデータの読み込みに失敗したときに表示されます。
	The system failed to write the data on SD memory card.	SDカードへデータの書き込みに失敗したときに表示されます。
	SD memory card format error.	SDカードのフォーマットが不正のときに表示されます。本機でフォーマットしてください。
	Fatal error has occurred on ***.	*** (デバイス) に故障が発生したときに表示されます。再起動しても発生する場合は販売店にご連絡ください。
	The system failed to read the Flash memory device.	内部メモリからの読み込みが失敗したときに表示されます。再起動しても発生する場合は販売店にご連絡ください。
	The system failed to write to the Flash memory device.	内部メモリへの書き込みが失敗したときに表示されます。再起動しても発生する場合は販売店にご連絡ください。
	E-mail delivery failure. Please confirm network connection and E-mail settings.	ネットワーク未接続やメール関連の設定が未設定のため、メール送信に失敗したときに表示されます。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
オーダーポスト、ベルトパック、オールインワンヘッドセット間の通信ができない。	<ul style="list-style-type: none">電源コードが本機の電源入力端子および電源コンセントに確実に接続されていますか? → 接続されているか、確認してください。	取扱説明書 設置編
従業員同士でのページはできるが、オーダーポストにいる顧客とのトークができない。	<ul style="list-style-type: none">オーダーポストのマイク入力、スピーカー出力が正しく接続されていますか? → 正しく接続されているか、確認してください。	取扱説明書 設置編
ネックセットのマイクに向かって話すと、ネックセットのイヤホーンからエコーが聞こえる。	<ul style="list-style-type: none">オーダーポストのスピーカーとマイクが正しく設置されていない可能性があります。 → スピーカーとマイクがお互いに離されていることを確認し、振動を吸収するためにそれぞれをしっかり固定してください。入出力の音声レベル設定が高すぎる可能性があります。 → オーダーポストへの音声入出力レベル(OUT MIC/OUT SP)を適切なレベルに下げてください。 (入力音声レベルを下げる設定により、フィードバックノイズを防ぐことができます)エコーキャンセラーがオフか、もしくはエコーキャンセラーレベルが低い可能性があります。 → エコーキャンセラーのレベルを適切に設定してください。 (初期設定は「MID」です)	WX-CM470、 WX-CS460の 取扱説明書 P.26 P.28
オーダーポストマイクからの音声が聞こえない、または小さい。	<ul style="list-style-type: none">オーダーポストのマイクが正しく設置されていない可能性があります。[Outside Mic] の設定が正しく行われていますか? → 接続しているオーダーポストマイクと [Outside Mic] の設定が正しいか確認してください。	P.15
オーダーポストからのノイズが大きい。	<ul style="list-style-type: none">デジタルノイズリダクションがオフ、もしくはデジタルノイズリダクションレベルが低い可能性があります。 → デジタルノイズリダクションのレベルを適切に設定してください。 (初期設定は「MID」です)	P.28
タッチパネル上のボタンにタッチしても反応しない。	<ul style="list-style-type: none">タッチパネルが汚れていませんか? → タッチパネルのお手入れを行って下さい。 お手入れをしても改善しない場合には、タッチパネルの調整をしてください。	取扱説明書 設置編
タッチパネル上のボタンにタッチしても別のボタンが反応する。	<ul style="list-style-type: none">タッチパネルの調整が必要です。 → タッチパネルの調整をしてください。	P.12
通話が途切れる、または、ほとんど聞こえない。	<ul style="list-style-type: none">子機が本機から離れすぎている、または製品の間にコンクリートの壁、金属の機器などの障害物がありませんか? → 販売店に連絡して、本機を障害物に囲まれていない場所に移動させてください。	---

故障かな!?

現象	原因・対策	参照ページ
オールインワンヘッドセットまたはベルトパックがセンターモジュールに登録されているが、圏内にならない。	<ul style="list-style-type: none">● [Sound Band] が「Wideband」に設定されていませんか? → WX-CT420、ソフトウェアバージョンが2.00より古いWX-CH457、およびWX-CH455、WX-CH450を使用する場合は「Narrowband」に設定してください。 (初期設定は「Wideband」です)	P.14
カメラと通信ができない。	<ul style="list-style-type: none">● カメラが本機に登録されていますか? → 登録しないと通信できません。接続するカメラを登録してください。	取扱説明書 ブラウザ編
	<ul style="list-style-type: none">● 本機のIPアドレスが他機器のIPアドレスと重複していませんか? → 他機器のIPアドレスと重複している場合、カメラとの通信がうまくいかない場合があります。IPアドレスの重複を改善後、本機を再起動してください。	P.11
正しく操作しても動かない、動作がおかしい。	<ul style="list-style-type: none">● 本機の誤動作の可能性があります。 → 本機側面のリセットボタンを先端の細いもので押してください。 (設定内容などは消えません)	取扱説明書 設置編

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリー ダイヤル  0120-878-410 受付：9時～17時30分（土・日・祝日は受付のみ）
※携帯電話からもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは https://connect.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号